

茨木市の地域コミュニティに関する  
アンケート調査  
[B調査]

報 告 書

令和2年（2020年3月）

茨木市市民協働推進課



## 調査概要

### 1 調査目的

策定から7年が経過した茨木市地域コミュニティ基本指針に掲げる地域コミュニティの活性化に向けた方策の現状を把握するとともに、社会経済情勢の変化等を踏まえた地域コミュニティのあり方などに関して、単位自治会長、地域自治組織及び、コミュニティセンター管理運営委員会の構成員から率直な意見等をお聞きし、今後の地域コミュニティに対する取組の重要な基礎資料とすることを目的とする。

### 2 調査方法

#### (1) 調査対象

茨木市内の単位自治会長、地域協議会及びコミュニティセンター管理運営委員会の構成員計875人

#### (2) 配布・回収方法

郵送による配布・回収（返信用封筒については受取人払い）

#### (3) 調査期間

令和元年（2019年）8月7日（水）～9月6日（金）

\* 期間終了後、一定期間（約2週間程度）回収し、報告書に反映

### 3 回収結果

回答者数：522人

回収率：59.7%

### 4 集計方法について

- ・ 「不明」とは無回答または回答が読み取れないものを示す。
- ・ 単一回答の設問について複数の回答があったものは、無効回答とせず、回答した選択肢番号の最も若い番号の選択肢を回答したものと見直して集計している。
- ・ 「その他」については自由記述記載内容を取りまとめ、整理し、一部抜粋するなどして記載している。

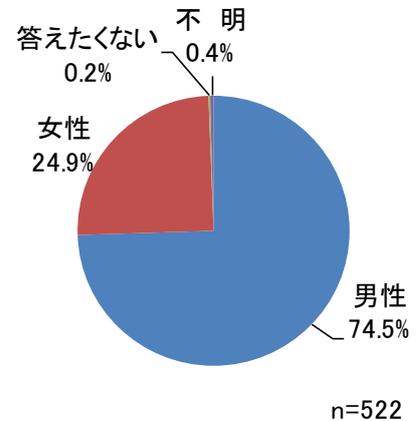
## 調査結果

### 1. ご自身のことについて

#### 問1 回答者の属性

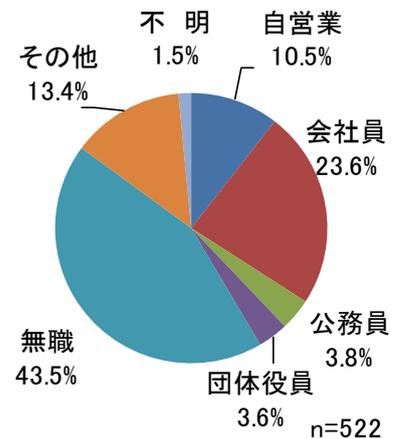
##### 【性別】(単一回答)

回答者の性別については、「男性」(74.5%)、「女性」(24.9%)、「不明」(0.4%)、「答えたくない」(0.2%)となっている。



##### 【回答者の職業】(単一回答)

回答者の職業については、「無職」(43.5%)が最も多く、次いで、「会社員」(23.6%)となっている。現役で仕事をしている方(その他を除く)が、41.5%(「自営業」「会社員」「公務員」「団体役員」)となっている。

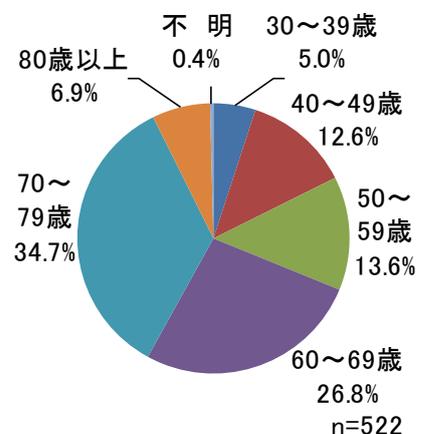


##### その他回答内容 (一部抜粋)

派遣社員／アルバイト・パート／会社役員／主婦／農業 等

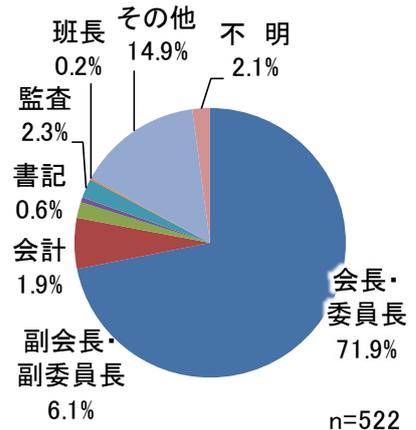
##### 【回答者の年齢】(単一回答)

回答者の年齢については、「70歳～79歳」(34.7%)が最も多く、次いで、「60～69歳」(26.8%)、「30～39歳」(5.0%)が最も少なくなっている。



**【回答者の所属組織での役割】（単一回答）**

所属組織での役割については、「会長・委員長」（71.9%）が最も多く、次いで、「その他」（14.9%）となっている。

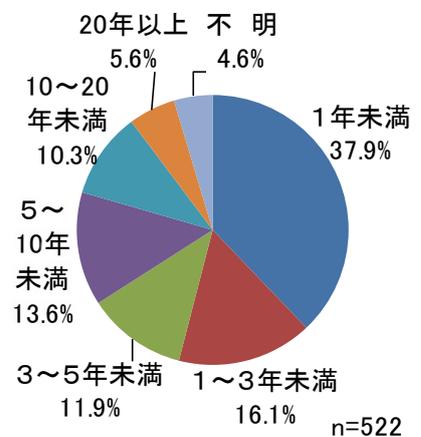


**その他回答内容（一部抜粋）**

相談役／理事長／理事／顧問／世話人／会長補佐委員／運営委員 等

**【役職経験 年数（通算）】（単一回答）**

役職経験年数については、「1年未満」（37.9%）が最も多く、次いで、「1～3年未満」（16.1%）、「3～5年未満」（11.9%）となっている。

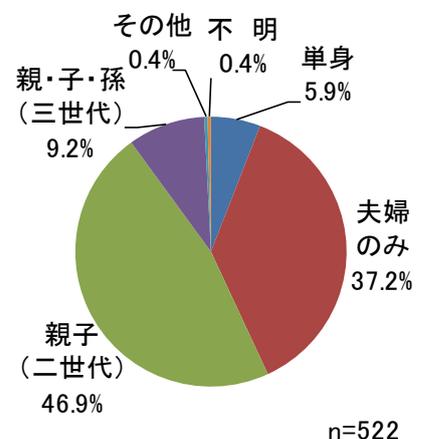


**問2【回答者の住まい】（単一回答）**

回答者の住まいについては、全校区から回答を得られている。また、最も多い校区は、28件、最も少ない校区は、3件となっている。

**問3【家族構成】（単一回答）**

世帯の構成については、「親子（二世帯）」（46.9%）が最も多く、次いで、「夫婦のみ」が37.2%となっている。

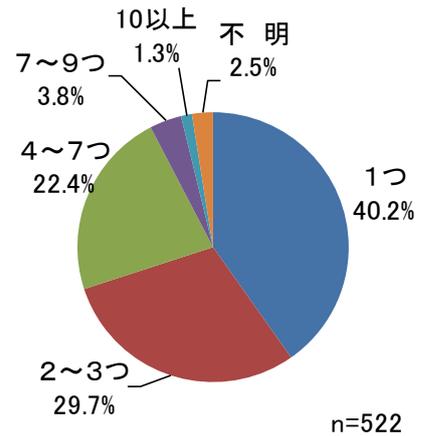


**その他回答内容**

同居あり／夫婦と孫

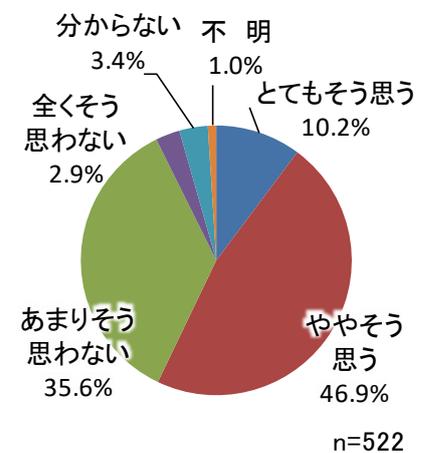
問4【あなたは、いくつの地域組織の役員などを担っていますか】(単一回答)

地域組織の役員などを担っている数については、「1つ」(40.2%)が最も多く、次いで、「2~3つ」(29.7%)となっている。



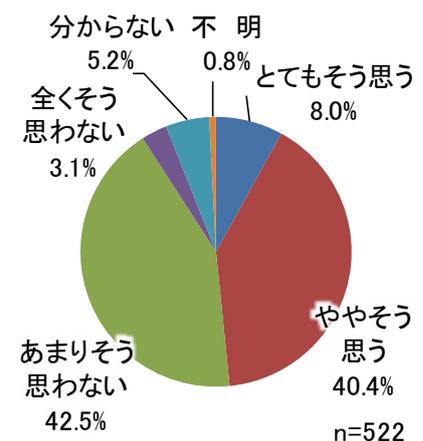
問5【あなたは、地域住民の交流・連携が進んでいると思いますか】(単一回答)

地域住民の交流・連携が進んでいるかについては、「とてもそう思う」(10.2%)、「ややそう思う」(46.9%)を合わせると、回答者の57.1%が交流・連携が進んでいると思っている一方で、「あまりそう思わない」(35.6%)、「全くそう思わない」(2.9%)を合わせると、回答者の38.5%が交流・連携が進んでいないと思っている。



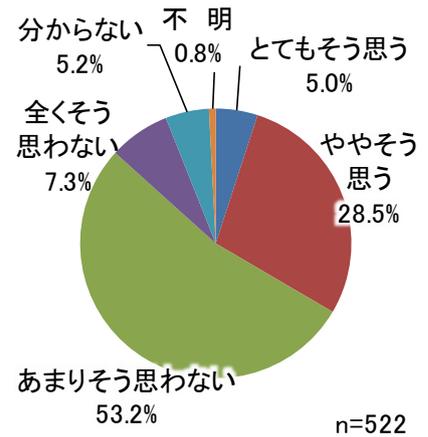
問6【あなたは、各地域組織の連携が進み、地域コミュニティが活性化していると思いますか】(単一回答)

各地域組織の連携が進み、地域コミュニティが活性化していると思うかについては、「とてもそう思う」(8.0%)、「ややそう思う」(40.4%)を合わせると、回答者の48.4%が活性化していると思っている一方で、「あまりそう思わない」(42.5%)、「全くそう思わない」(3.1%)を合わせると、回答者の45.6%が活性化していると思っていない。



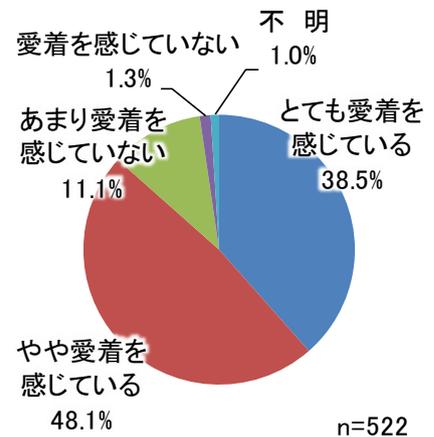
問7【あなたは、地域住民自ら地域づくりを進めようとする意識が高まっていると思いますか】（単一回答）

地域住民自ら地域づくりを進めようとする意識が高まっていると思うかについては、「とてもそう思う」（5.0%）、「ややそう思う」（28.5%）を合わせると、回答者の33.5%が意識が高まっていると思っている一方で、「あまりそう思わない」（53.2%）「全くそう思わない」（7.3%）を合わせると、回答者の60.5%が意識が高まっていないと思っている。



問8【あなたの住む、または、活動する地域に愛着を感じていますか】（単一回答）

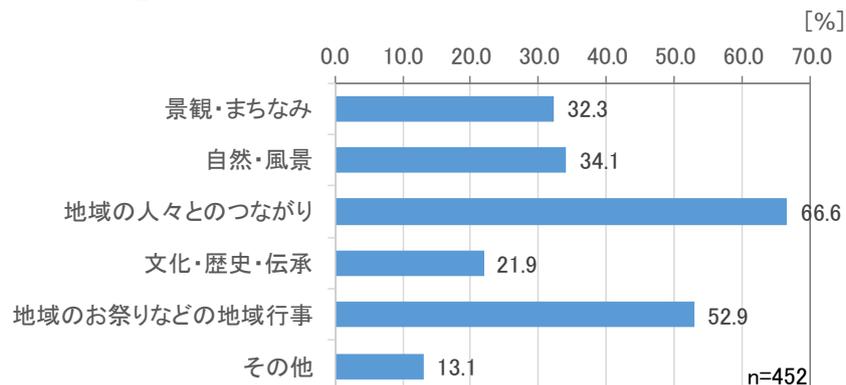
住む、または、活動する地域に愛着を感じているかについては、「とても愛着を感じている」（38.5%）、「やや愛着を感じている」（48.1%）を合わせると、回答者の86.6%が活動する地域に愛着を感じている。



問9【自分が住む、または、活動する地域のどのようなところに愛着を感じていますか】（複数回答）

（前問で愛着を感じていると回答した方のみ回答）

どのようなところに愛着を感じているかについては、「地域の人々とのつながり」（66.6%）が最も多く、次いで、「地域のお祭りなどの地域行事」（52.9%）、「自然・風景」（34.1%）となっている。



その他回答内容（一部抜粋）

<生活利便性>

住民サービスが良い。

買い物の利便性が高い。

銀行、病院、スーパー、図書館、学校、食事施設

生活のしやすさ（生活環境、治安、落ち着いた住環境、美化意識）

<交通>

交通の利便性が高い。

<治安>

児童の見守り（交通安全）

犯罪が比較的少ない、温かな住民

<コミュニティ・活動>

神社の古き良き行事

子どもたちを通しての繋がり

町内、校区内での人間関係ができています。

サラリーマン家庭が多く、同じような価値観をもっている人が多い、住みやすい。

<教育>

教育が充実している。

大学と連携・共生していく大学側の姿勢

<生まれ育った地元>

生まれ育ったため。

住み慣れた街のため。

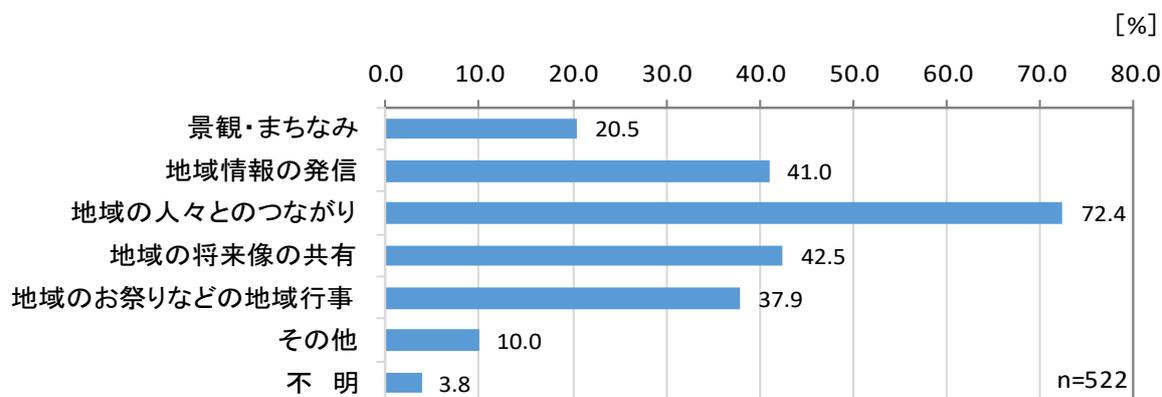
長年住んでいるため。

長年この地域に住み、子どものふるさとにもなっている。

問10【あなたは、シビックプライドの醸成のために、今後、何が必要だと思われますか】

(複数回答)

シビックプライドの醸成には、今後、何が必要だと思われるかについては、「地域の人々とのつながり」(72.4%)が最も多く、次いで、「地域の将来像の共有」(42.5%)、「地域情報の発信」(41.0%)となっている。



その他回答内容 (一部抜粋)

<景観・まちなみ>

駅前再開発
安心・安全・便利
景観や自然環境の維持・保全
住みやすさ (ex 交通の便/施設)
スポーツ施設、温水プール、病院、スーパー
都市計画開発コンセプト(「国際文化公園都市」)の継続
コンパクトシティ構想の再構築

<地域情報の発信>

茨木の歴史の紹介
課題の共有、共同参画
市全体の情報発信
生活保守主義の意識を人とのつながりによって啓発すること

<地域の人々とのつながり>

自治会への参加
組織内の次の世代への継承
自治会に全員入る組織づくり
子どものいる家庭を多く巻き込む。
新入居者、若年層の地域の参画協議
60~70代の住民の活動を生かす工夫

細かい住民の交流（向こう三軒両隣の精神）
連携が最も必要！話し合う姿勢も大切！
各組織の連携と統一、または一本化などスマート化

### <地域の将来像の共有>

インクルーシブコミュニティの具現化（公共施設及び交通の充実）
社会福祉や教育の充実

#### ※インクルーシブコミュニティ

多様な個性や価値観、ライフスタイルを認め合い全ての人にチャレンジする機会を提供する公正で開かれた共同体

### <地域のお祭りなどの地域行事>

自分ができる活動
神社のお祭りの継続性
年代間で共有できる行事、文化活動
各々で仕事を分担して、メリットがあること
子どもの見守り運動を通じて、地域で子どもを育てる意識の醸成、セカンドキャリアの高齢者のやりがい

### <意識の醸成>

住民の意識
地域の文化遺産への理解
共助の精神、おかげさまと思う心
ゴミ処理問題についての意識の高揚
他地域との違いを知り、よいところは守り、悪い所は改善

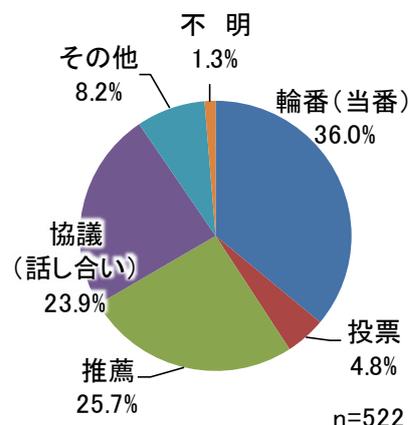
### <その他>

文化・美術
災害時の対応
地域ブランド米
行政の援助・協力

## 2. 地域活動の現状課題について

### 問11【あなたの所属する主たる組織の役員の選出方法】(単一回答)

役員の選出方法は「輪番(当番)」(36.0%)が最も多く、次いで、「推薦」(25.7%)、「協議(話し合い)」(23.9%)となっている。



#### その他回答内容(一部抜粋)

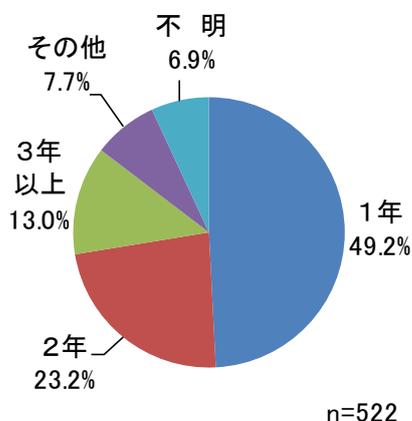
くじびき/抽選/立候補/他薦/当番制/充て職

### 問12【任期についてお伺いします。】(単一回答)

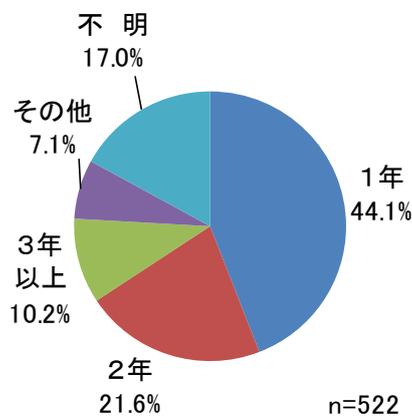
任期については、どの役職においても、「1年」が最も多くなっている。

また、その他の役職としては、組長、支部長、理事、清掃委員、顧問相談役、監事等となっている。

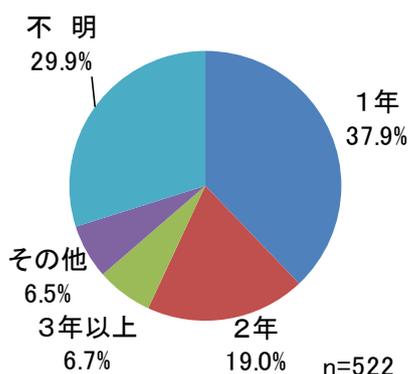
#### 【会長・委員長】



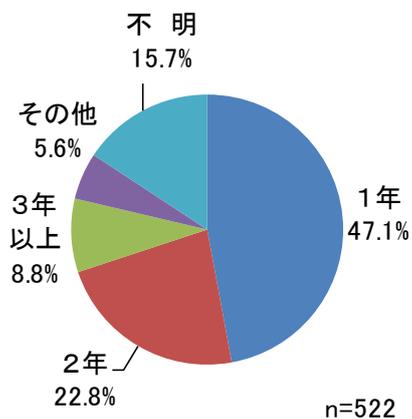
#### 【副会長・副委員長】



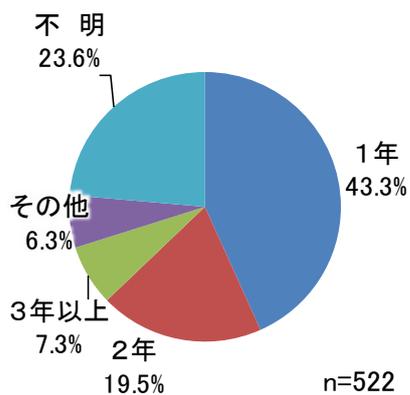
#### 【書記】



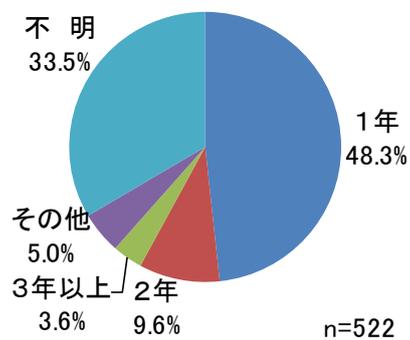
#### 【会計】



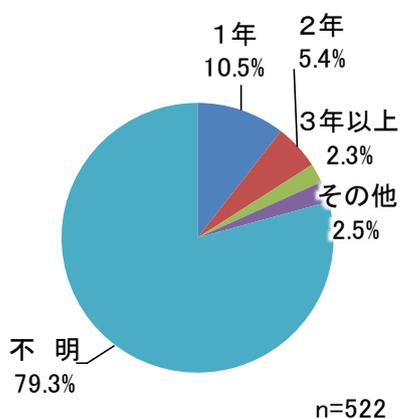
【監査】



【班長】

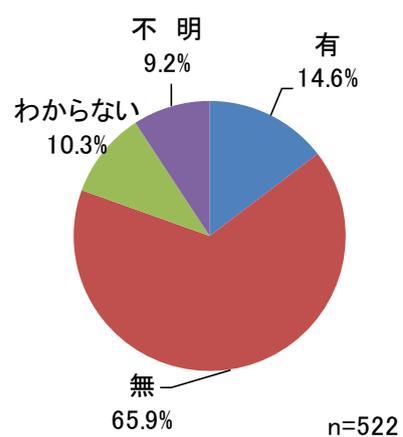


【その他】



問13-1 【各役員の謝礼（報酬）の支給の有無】  
（単一回答）

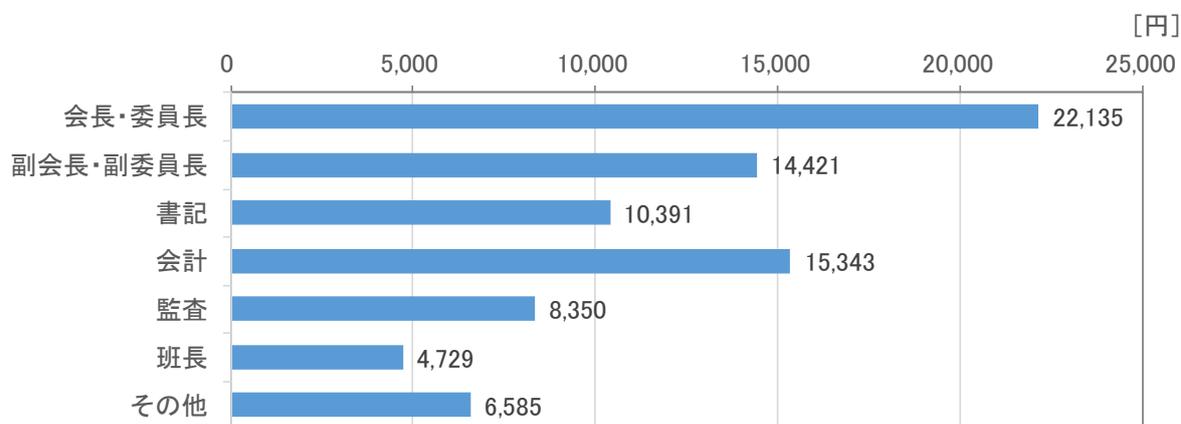
役員の謝礼（報酬）の支給は「無」（65.9 %）  
が最も多い。



### 問13-2【各役員の謝礼額の平均額】

（前問で謝礼（報償）有と回答した方のみ回答）

役員の謝礼（報償）の平均額が最も高い役職については、「会長・委員長」（22,135円）となっており、次いで、「会計」（15,343円）となっている。



#### 【各謝礼（報償）の支出元と支出科目】（一部抜粋）

##### <会長・委員長>

支出元	自治会費／自治会報償金／管理費
支出科目	役員報償費／活動費／通信費／交通費／筆記用品／用紙代

##### <副会長・副委員長>

支出元	自治会費／自治会報償金／管理費／コミセン運営費
支出科目	活動費／通信費／交通費／役員報償費／筆記用品／用紙代

##### <書記>

支出元	自治会費／自治会報償金／管理費／地域協議会／コミセン運営費
支出科目	活動費／通信費／交通費／役員報償費

##### <会計>

支出元	自治会費／自治会報償金／管理費／コミセン運営費
支出科目	活動費／通信費／交通費／管理費／役員報償費

##### <監査>

支出元	自治会費／自治会報償金／管理費／コミセン運営費
支出科目	活動費／通信費／交通費／役員報償費

<班長>

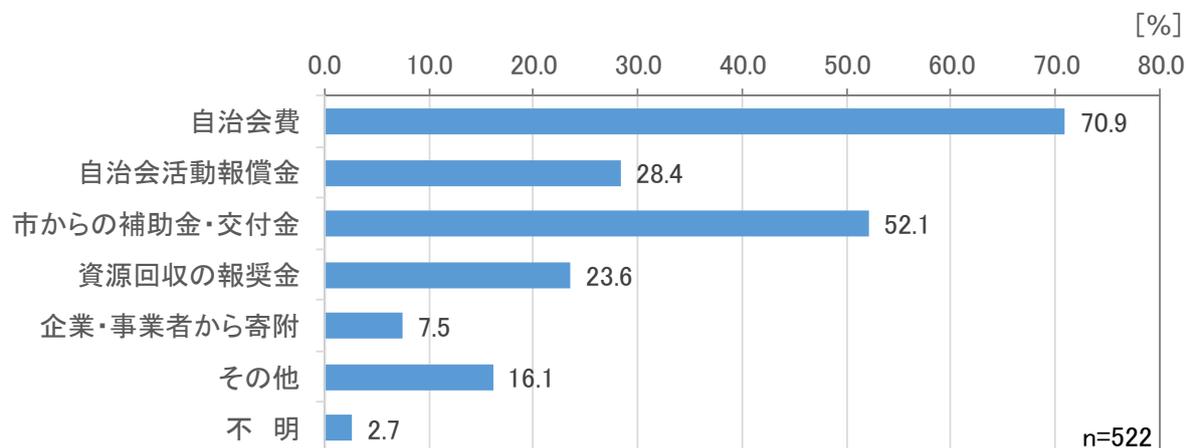
支出元	自治会費／自治会報償金／管理費
支出科目	活動費／通信費／交通費／役員報償費

<その他>

役職	組長／支部長／理事／清掃委員／顧問相談役／監事
支出元	自治会費／自治会報償金／管理費／コミセン運営費
支出科目	活動費／交通費／運営費／役員報償費

問14【所属されている組織の主な収入は何ですか】（複数回答）

主な収入については、「自治会費」（70.9%）が最も多く、次いで、「市からの補助金・交付金」（52.1%）、「自治会報償金」（28.4%）となっている。



その他回答内容（一部抜粋）

<助成金・補助金等>

府補助金
自治会助成金
社会福祉協議会補助金

<事業収益>

祭りの収入
神社清掃奉仕
公社駐車場管理業務委託費
施設使用料（コミュニティセンター・集会所・自治会館）

<寄付>

自治会員からの寄付
地域の人からの米、野菜、もち米等の寄付（差し入れ）

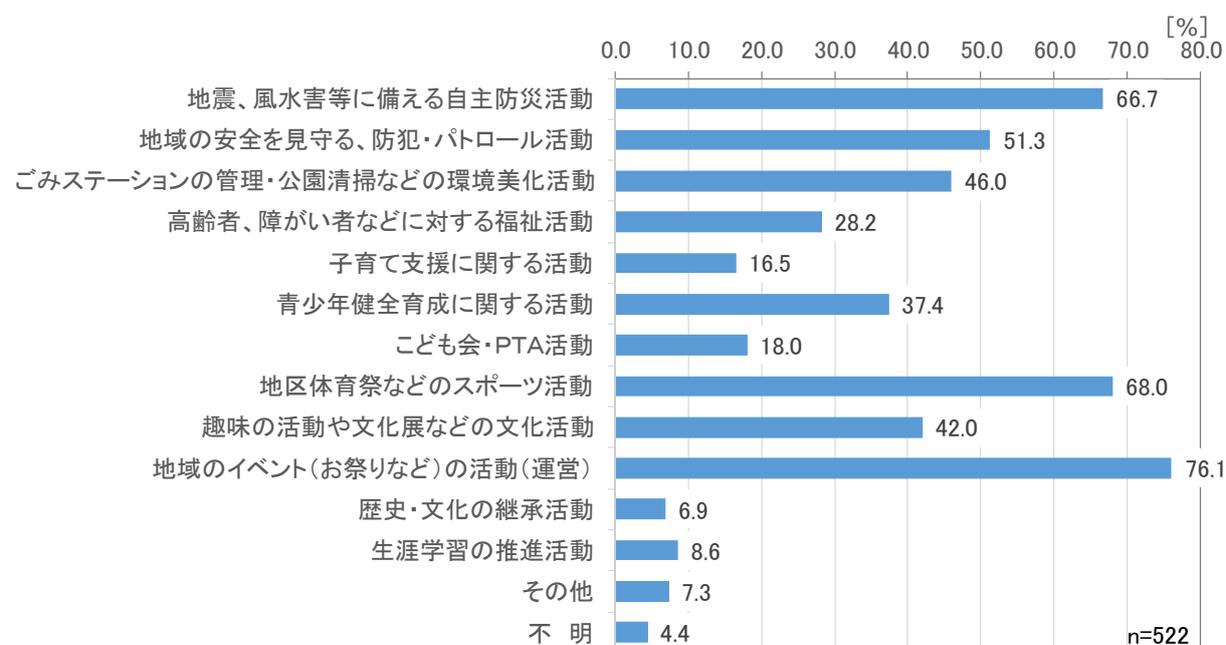
<その他>

管理費／活動費／繰越金／運営費／老人クラブ(老人会)費／PTA会費／こども会費／青健協会費
---

問15-1【あなたは、次にあげる地域コミュニティ活動に参加されていますか。】

(複数回答)

地域コミュニティ活動への参加状況については、「地域のイベント（お祭りなど）の活動（運営）」(76.1%)が最も多く、次いで、「地区体育祭などのスポーツ活動」(68.0%)、「地震、風水害等に備える自主防災活動」(66.7%)と「地域の安全を見守る、防犯・パトロール活動」(51.3%)となっている。



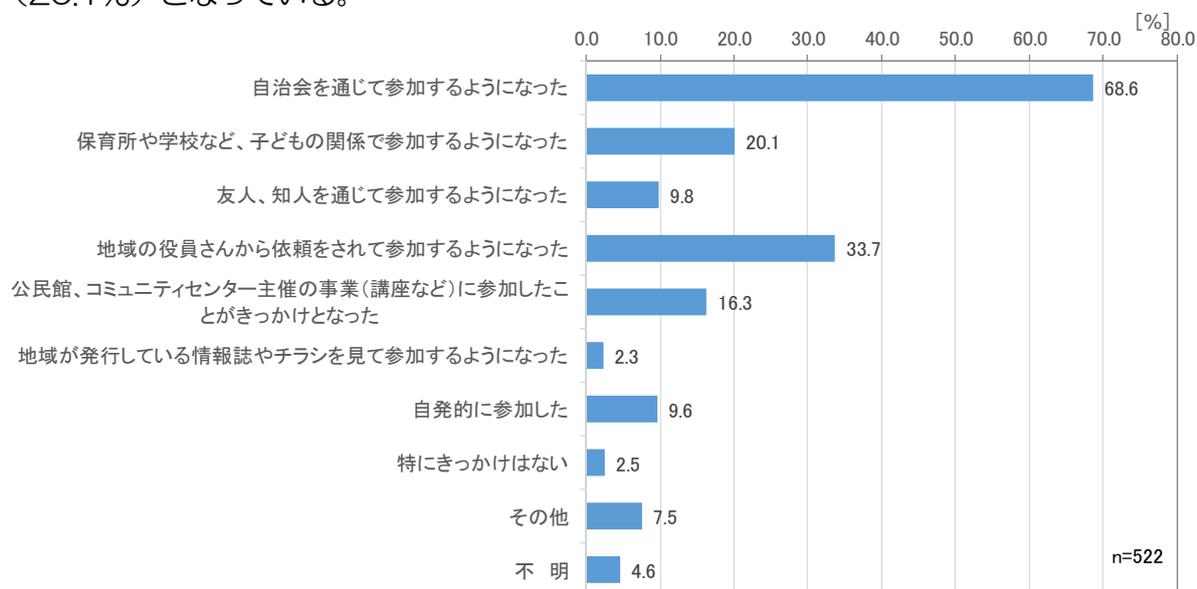
その他の回答内容（一部抜粋）

<その他の活動>

神社行事、異文化交流、スポーツ少年団、子ども食堂、高齢者への運動指導・ボランティア
---

## 問15-2【地域コミュニティに参加するようになった「きっかけ」】（3つまで回答）

地域コミュニティに参加するようになった「きっかけ」については、「自治会を通じて参加するようになった」（68.6%）が最も多く、次いで、「地域の役員さんから依頼されて参加するようになった」（33.7%）、「保育所や学校など、子どもの関係で参加するようになった」（20.1%）となっている。



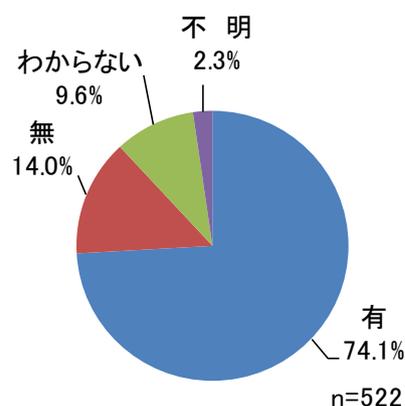
### その他回答内容（一部抜粋）

#### <その他のきっかけ>

民生委員・福祉委員・老人クラブ(老人会)・スポーツ少年団・彩都まちづくり館への参画
役員の方の姿を見て、協力していこうと思った。
地域に何かの形で貢献出来ればと思い参加
若い時からの望みであり、地域のために参加するようになった。
仕事で地域活動に関わっていたため。
退職して地域コミュニティの重要性を感じた。

## 問16-1【所属する組織の活動にあたり、他の団体や組織と連携・協働することはありますか】（単一回答）

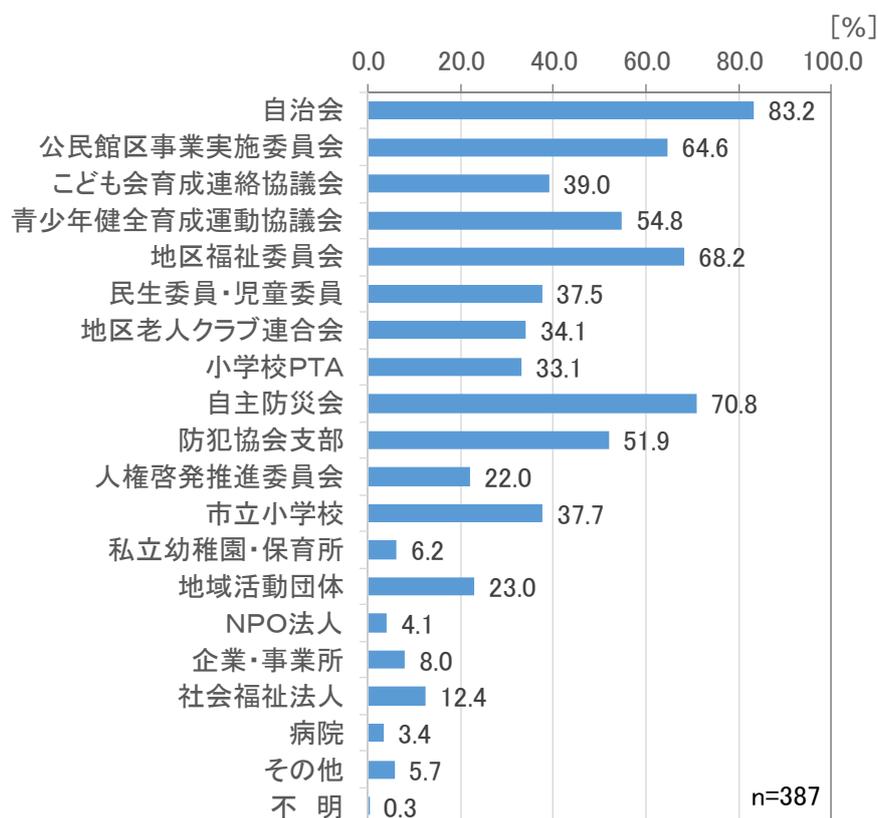
所属する組織の活動にあたり、他の団体や組織と連携・協働については、「有」（74.1%）となっている。



問16-2【どのような団体や組織と連携・協働していますか】（複数回答）

（前問で「有」と回答した方のみ回答）

連携・協働している先については、「自治会」（83.2%）が最も多く、次いで、「自主防災会」（70.8%）、「地区福祉委員会」（68.2%）、「公民館区事業実施委員会」（64.6%）となっている。



その他回答内容（一部抜粋）

あいさつ運動推進協議会／神社夏祭祭礼委員会／なにわ少年院／スポーツ少年団／消防団  
／市役所

問17【他の団体や組織と連携・協働している具体的な内容】（自由記述）

回答内容（一部抜粋）

<祭り>

ふるさと祭り、夏祭り、盆踊り、コミセン祭り、地区氏神様の秋祭り、茨木神社夏祭り、青少年祭り、文化展（祭）

上記事業の開催及び参加（運営協力・備品提供・出店含む）

### <イベント>

年末ふれあいの広場（もちつき）、敬老大会、青健協大会、日帰り研修バスツアー、子ども会カルタ大会、ラジオ体操、史跡探訪ハイキング、世代交流会、七夕・クリスマス会、ハロウィンや親睦を目的とした集会、いきいきサロン、わいわいネットワーク茨木、茨木子ども食堂、山林の草刈り、夕涼み会
上記事業の開催及び参加（運営協力・備品提供・出店含む）
各行事を同日にコラボし、実施

### <スポーツ>

地区運動会、体育祭、スポーツレクリエーション、ソフトバレー大会、公民館球技大会、三点バレーボール大会、こども会スポーツ大会、自治会対抗スポーツ大会、子ども会ドッジボール大会、グランドゴルフ
上記事業の開催及び参加（運営協力・備品提供含む）
ガンバ大阪のコーチを呼んで、子どもの指導
市こ育連キックベースボール審判員として参加

### <防犯・防災>

防災訓練、防災フェスタ、交通マナー、防犯啓発（特殊詐欺など）、見守り、パトロール（GW、年末の年2回）、年末夜警、防犯教室、救命訓練
上記事業の開催及び参加（運営協力・備品提供含む）
老人ホームとの防災協定

### <福祉>

敬老祝賀会、高齢者サロン・コーヒー喫茶、高齢者の昼食会、いきいき交流広場、老人クラブ（共同清掃活動、食事会、サークル活動）、単身高齢者の集い、福祉バザー、各種募金活動
上記事業の開催及び参加（運営協力・備品提供含む）
市民後見人活動他
認知症者の話し相手
福祉による老人ホーム、幼稚園等の交流
1人住まいお年寄りへの定期的な連絡訪問

### <清掃>

地区の清掃活動、公園清掃、地域クリーン作戦、河川一斉清掃
上記事業の開催及び参加（運営協力・備品提供含む）
地域一斉清掃時にこども会と連携し、実施

### <会合・運営>

諸会議等参加・連絡、意見交換、役員推薦、行事の日程調整、金銭の援助、交付金振り分け相談、役割分担の協議

### <マンション>

マンション管理組合と自治会との連携

### <教育>

小学校行事及び依頼への協力、見学

放課後子ども教室、子ども会支援、小中学校セーフティネットワーク

### <情報共有>

理事長として各会議に参加し、内容を理事会に反映する。

各団体、組織からの文書、チラシ等、各戸配布または回覧

地域情報交換、指導・アドバイス・協力、問題の共有と協働

### <その他>

廃品回収

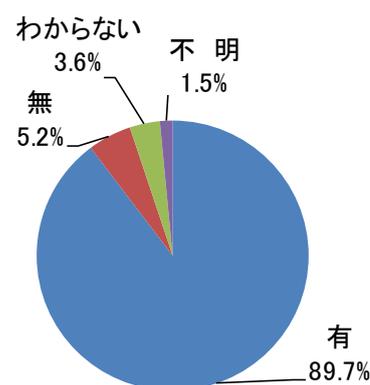
病院ボランティア

将来は自治会では地域全体を1つの組織としてNPO化を検討

年に1回、地域の諸団体、市、警察、小中学校との協議会を実施、地域の諸行事への参加、運営のお願いをする。

### 問18-1【所属する組織の会員同士が話し合い、情報を共有する場はありますか】(単一回答)

情報共有の場については、「有」(89.7%)となっている。

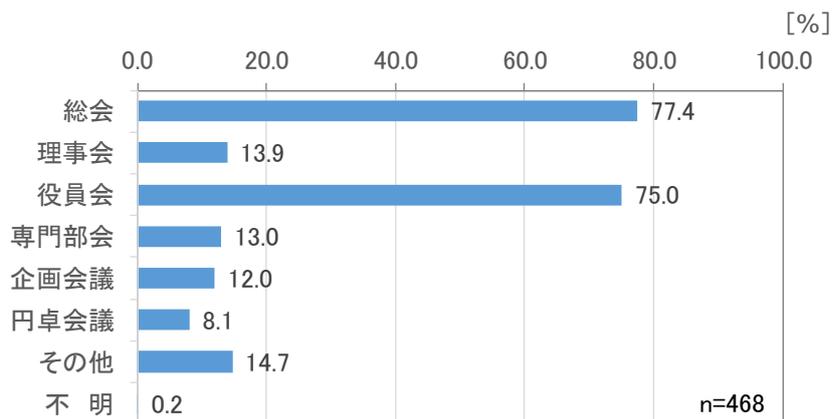


n=522

### 問18-2【それはどんな「場」ですか】(複数回答)

(前問で「有」と回答したのみ回答)

話し合い、情報共有する具体的な「場」については、「総会」(77.4%)が最も多く、次いで、「役員会」(75.0%)となっている。



### その他回答内容（一部抜粋）

#### <会議>

定例会、班長・組長会、実行委員会、準備委員会、地域協議会、自治会連合会、校区内組織代表者会議、世話役会、小学校区各種団体連絡会議、事務局会議、セーフティネット会議、編集会議

行事前の打ち合わせや反省会等

集会所等で各団体の長が集り、2か月に1回、地域の問題点等を話し合っている。

#### <地域活動>

チラシ、機関紙、個別訪問、クラブ活動

公園の清掃（月1回第1日曜日）、一斉清掃

各種イベント（地区行事、管外研修、新年会、防災関連研修、寺に集合し御礼会、講演会ふれあいの集いなど）

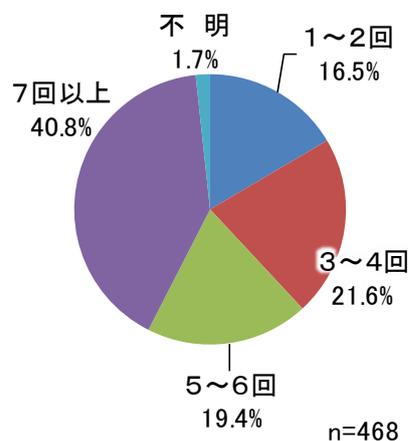
#### <その他>

親睦会、会議後の打ち上げ

グループライン（メール）等による書面会議

問18-3【会員同士が話し合い、情報を共有する場は、年間、どの程度開催していますか】（単一回答）

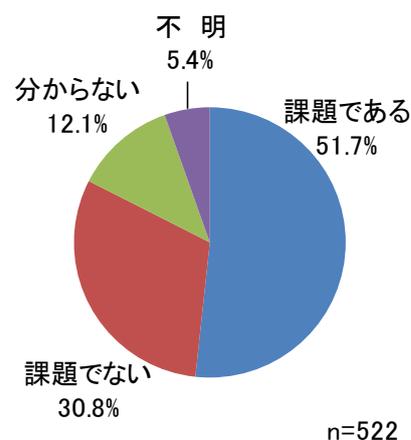
話し合い、情報共有する具体的な「場」の開催頻度については、「7回以上」（40.8%）が最も多く、次いで、「3～4回」（21.6%）となっている。



問19 所属している組織において次の①～⑪について課題となっていますか。また、対策として工夫している具体的な取組がありますか。

【課題①組織への加入者が減少している】（単一回答）

「組織への加入者が減少している」ことについては、「課題である」（51.7%）となっており、その他課題に対しての具体的な工夫や取組については以下のとおりである。



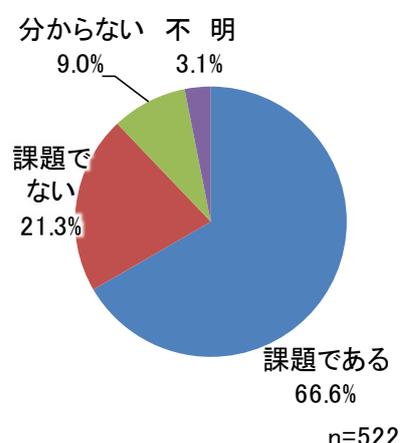
<加入者減少に対する工夫した取組（一部抜粋）>

情報誌、チラシの配布、掲示板の活用
若年者への声かけ
役員が未加入者宅をまわる。
会員による友人、知人の勧誘
役員を免除し、再度加入をお願いしている。
転入者宅への個別訪問、地域活動資料の配布
引っ越しと同時に加入のチラシを配っている。
説明会を開いて活動、自治会規約等を説明している。
チラシを各単位子ども会に配布してもらうようにしている。
賃貸マンション等はオーナー、不動産会社へ協力をお願いしている。
新築住宅、転宅の情報が入れれば1ヶ月以内に、資料を持って訪問し勧誘
イベント等は自粛しているため会費の一部を地域還元している（Quoカードなど）。
新築マンション入居者へ単位自治会長、連合会長が参加を呼びかけに数回訪問。地区体育祭に参加要請
地域で自治会員の未加入が増えているので、組織全体を見直すため、今年から地域の自治会長が一同に会して会議を実施
自治会に入るメリットを前面に PR、災害時、早期避難の支援・声かけネット（ふれまちネット system の構築）
新規転入者には戸別訪問し、入会を働きかけている。地区行事等への参加をうながし、親睦をはかり入会のきっかけになるようにしている。
高齢者の役職免除
アンケート実施。管理組合との合併も検討等
高齢者は自治会に加入しても役員に当たらない。
活動のスマート化（アナログとデジタルの並用）
自治会の組織の枠を外して地域活動に参加できるようにしている。

ある行事では、自治会の加入世帯、未加入世帯であっても、自由に参加できるように、条件を廃止
マンションの管理組合（輪番制）の役職の中に「自治会長（その他役職は管理組合の同役職と兼務）」を設ける。会費無料、住民=会員という扱いにしている。
PTAのOB等の勧誘
新築6軒に対して直接訪問し、自治会加入を訴え、4軒が加入
毎年2月の小学校の新入生説明会でプリント配布とPRトーク
やめていく方に1つの行事だけでも参加していただくことをお願いしている。
自治会独自の行事として、毎月清掃活動の実施、1回/年「ふれあいの集い」を開催

### 問19【課題②高齢化により、地域活動に参加出来る人が減少している】（単一回答）

「高齢化により、地域活動に参加出来る人が減少している」ことについては、「課題である」（66.6%）となっており、その他課題に対しての具体的な工夫や取組については以下のとおりである。



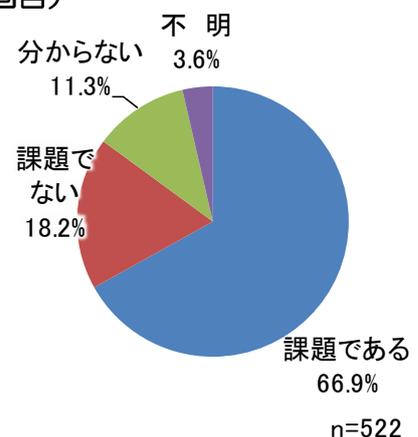
### <地域活動への参加に対する工夫した取組（一部抜粋）>

一定の年齢に達した方には役員を免除
80才以上は希望すれば役員（組長、班長）を免除している。
イベント等において、高齢者等の専用観覧席を設けている。会場まで自家用車で送迎
高齢の役員の方には、住居内での活動をお願いしている（コピー等）。地域の会合には、できる範囲での出席をお願いしている。
老人クラブと連携
1会員として残ってもらう（役員免除）。
隣組で誘い合って来てもらう様にしている。
できる範囲で参加していただけるようにする。
高齢者にも参加しやすい場づくりを老若問わずふれあいの輪を作る。
こども会が行うラジオ体操と連携し、気軽に参加できるようにしている。
年齢により役員免除を話し合いで決めている。自主活動を推進し、補助金を出してバックアップしている。
若年層の意見の募集
PTA 中心に参加協力
こども会、保護者の方への協力依頼をしている。

新しく引越して来られた方へ設置入会を進める。
普段から若年者に参加ある様に（いろいろの行事）。
PTA や放課後子ども教室等から若い人を地域活動に参加の働きかけ。自治会長経験者へ参加の働きかけを行っている。
各事業はプログラム等で周知している。
地域、近くの住民が誘い合うなどの工夫をしている。
年間2回の大掃除において、参加者には、お礼として生活用品を毎回配布
防災関連を通して自治会の必要性を考えてもらい退会者の減少に取り組んでいる。
活動内容を毎月「〇〇便り」と発行、地域内に配布して呼び込み行事案内等
高齢者より、転入者が多く（新しい街のため）チラシ、回覧、公報、HPなどで、地域活動の周知をしている。
自治会員が参加する行事について、隣組ごとに回覧し、各組長から個々に参加依頼をしてもらう。また、6か所の掲示板に行事案内を提示
事業の簡素化等、負担の軽減
出来る方で輪番制をとっている。
各団体の役員の人員数の再検討と事業内容の再チェックを進行中
参加しやすい内容の事業（手芸、歌音楽、軽いスポーツ）
毎日ニュースを発行するなど周知に努めている。新しいテーマに取り組んでいる。
高齢の役員の方には、主に住居内（集合住宅）での活動をお願いしている（コピーをするなど）。地域の会合（会議など）はムリに出席してもらっていない。
各種団体に参加協力を求めている。
地域の企業からの協力をいただき助かってきています。
地区からの各委員会の割当、人数を少なくしてもらっている。
他の自治会と協働して参加できる人を募っている。
長寿会（老人クラブ）に加入して活動している方が減少しているので未加入者に加入促進を努めたい。
親睦部会を設けて、毎月集会所で親睦会を行っている。

問19【課題③役員の負担が大きく、担い手がいない】（単一回答）

「役員の負担が大きく、担い手がいない」ことについては、「課題である」（66.9%）となっており、その他課題に対しての具体的な工夫や取組については以下のとおりである。

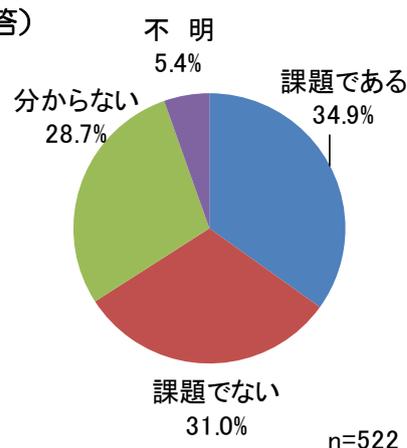


< 役員の負担や担い手の確保に対する工夫した取組（一部抜粋） >

できる範囲での活動を心がけている。
意欲的に行動してくれる人を個別にあたる。
いつも同じメンバーで構成されるので、若い人への個別勧誘
無駄な会議を減らし、役員の負担を軽減する。
会長への負担が大きいため、輪番により負担を分散している。
自治会の活動のあり方を再検討して、出来るだけ役員の負担を減らす。
ここ数年でパソコンの使用を大きくクローズアップしている（デジタル化）。
ライン（メール）を活用し、会議の事前準備をして会議の時間を短縮している。
輪番制の役員の業務を民間業者へ振り分け委託し、負担を減らすことで高齢の方の就任辞退を回避するべく協議中
会長の2人制
役員数を減らしている。
1人が2～3の役員を兼務
役員を支援するスタッフを多くして、負担を軽減している。
副会長に1つの行事の取りまとめをまかせる→負担分散の一つ
副会長を複数（3人）としている。副を増やし、行事毎に担当制を引き協力しあっている。
できる人が応援する。
班長と他の委員を兼ねている。
アンケートを実施し、行事の規模を縮小
主婦を中心とした課題提案や討論の場を設けている。
自治会組織が大きいので、原則1日役員が選出している。

問19【課題④所属している組織に魅力を感じない】（単一回答）

「所属している組織に魅力を感じない」ことについては、「課題である」（34.9%）となっており、その他課題に対しての具体的な工夫や取組については以下のとおりである。



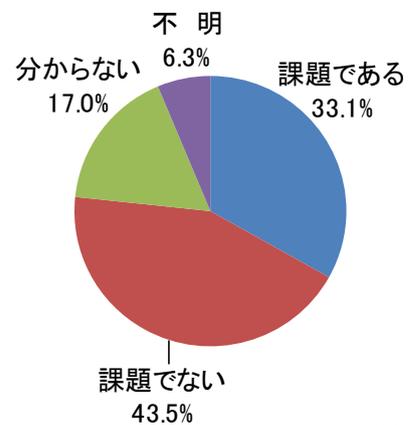
< 魅力の向上に対する工夫した取組（一部抜粋） >

広報誌で活動を発信
近所のお付き合いを深め、連携をとる。
小さい事でも出来事や入手情報の発信に努めている。
防犯、防災を理解してもらい、共助の必要性を感じてもらう。

主体者間で夢を語る希望を述べあい、その結果をチラシにして考え方や進め方を回覧または全戸配布
価値観の違いが大きくなっているので、お互いの立場を尊重し、あいさつを交わすように心がけている。
イベント、学習会などの開催
当自治会の独自性を明確化→ふれまちネット構築
夏祭り出店、クリスマスイベント（人形劇）、夏休みラジオ体操、一斉清掃等の行事を通じ、自治会員相互の親交、協調感の醸成につながっている。
メリットとしてごみ袋を配布
過度な負担とならないように行事を組んでいる。
コミュニケーションや楽しさの創出に主眼を置いて取り組んでいる。
毎年同じ事業計画でやってきた事で新鮮味が薄れていると感じるので新しい事業計画も増やしてやっている。
輪番で強制的だが、知り合いが増えるメリットもある。
小学校まで遠く、行事参加者が少ないが、通学路を直線で結ぶ道路の設置を市に働きかけている。
コミュニティセンターの指定管理制度に魅力を感じる。地域の事は、地域でやる事に、やり甲斐を感じる。

### 問19【課題⑥地域活動に対する住民への周知ができていない】（単一回答）

「地域活動に対する住民への周知ができていない」ことについては、「課題でない」（43.5%）となっており、その他課題に対しての具体的な工夫や取組については以下のとおりである。



n=522

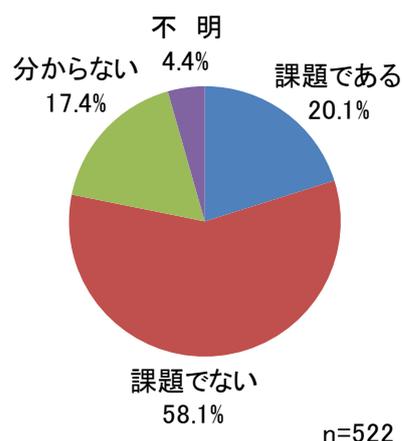
#### <住民への周知に対する工夫した取組（一部抜粋）>

回覧板、チラシ、ポスター、掲示板、HP、地域情報誌、広報誌、コミセンニュースの活用 (全戸配布含む)
ライン（メール）の活用
自治会独自の回覧を配布
総会（自治会）で少しだけアピール。
月1回の常会（定例会）で説明している。
楽しい行事を企画し、口コミでも広げる。

中学校等の協力で児童、生徒を通じて配布
毎月の回覧に活動の予告や活動結果を記載
できる限り会長による手作りピラを配布している。
自治会加入者、未加入者関係なく行事参加への声かけ。
回覧板不要の方へも大切なお知らせは、ポストインしている。
ミニ掲示板を作成し、班長宅に設置することにより、見る人が増える。
スポレクなどは応援と参加を回覧板を通じて呼びかけをし参加者には弁当などを渡している。
地域情報誌を組織の枠を超えて共同で作成し、地域全体へ配布（幼稚園・保育所・小学校）
年3回、広報誌を発行し何をしている団体なのかを広報している（賛助金の使途、年間活動等）。
スポーツレクリエーション大会などでは組長に依頼して広い世代に声かけして参加してもらっている。

### 問19【課題⑥活動資金が不足している】（単一回答）

「活動資金が不足している」ことについては、「課題でない」（58.1%）となっており、その他課題に対しての具体的な工夫や取組については以下のとおりである。



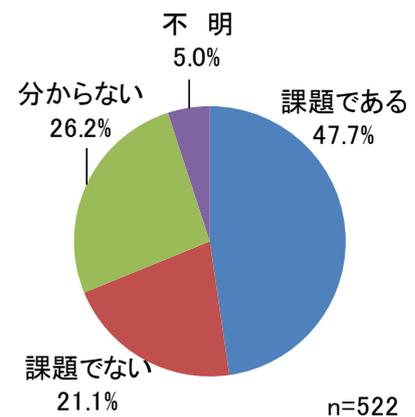
### <財源確保に対する工夫した取組（一部抜粋）>

自治会費を増額して対応
リサイクルで資金回収を実施
自治会に入っていない人も協力金(電灯代)として半額もらう。
地域内の企業にも出来るだけ自治会員（特別会員）への加入を依頼して収入を得ている。
PTA、青健協からの協力金
地域事業者からの寄付金・協賛金
行事の際に地区内商業・サービス業諸団体に協賛金を依頼している（近年不足気味）。
地域づくり協議会を結成できたので、地域の企業から人・物・金も協力いただいている。
こども会の行事にかかる費用の一部を、青健協や福祉委員会等から援助してもらっている。
自治会として資源回収に取り組み住民にも協力をお願いしている。
再生資源の搬出をできるだけしていただくよう呼びかけている(市の報奨金、業者からの代金が増えるため)。
ふるさと祭り等での売上収益

地域祭の模擬店収益金を活用している。
廃品回収を子ども会（会員数減少のため中止）から継承（地域協議会）
事業仕分けの提案
会員数を増やし会費の増加させる方法を模索

### 問19【課題⑦住民の地域活動（まちづくり）に対する関心が薄れている】（単一回答）

「住民の地域活動（まちづくり）に対する関心が薄れている」ことについては、「課題である」（47.7%）となっており、その他課題に対しての具体的な工夫や取組については以下のとおりである。

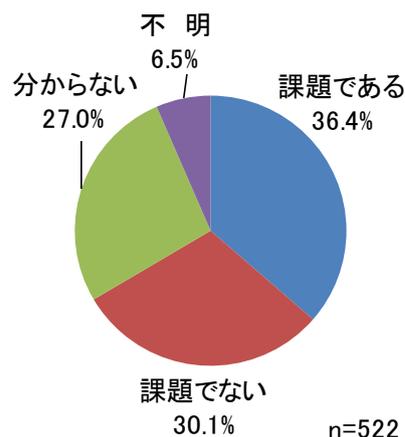


#### <地域への関心に対する工夫した取組（一部抜粋）>

回覧板、チラシ、ポスター、地域活動資料、地域情報誌、公民館報の発行（全戸配布含む）
地域協議会便りの発行（3回/年）、行事カレンダーを添付、全戸配付
月一回の役員会文書に、自治会ならびに校区の行事を案内している。
親睦会の開催
コミュニケーションができる場の提供
まちづくりのための、セミナーを実施した。
廃品回収、経理よりごみ袋配布している（50枚/年1回）。
2ヶ月に1度自治会ニュースを配布。年2回懇親会を開催している。
消防訓練や隣接公園の定期清掃並びにクリスマスイルミネーションを実施
防災をkeywordにして、地域としての意見集約をはかろうとしている。
子ども会が中心となり、各種行事（月例集会、ハロウィン、など）を行っている。（親睦部会）
行事参加を促す一つとして、参加者に飲料等を提供。地区内の注意点等を月1回回覧している。
行政主導のもと「いばきたデザインプロジェクト」に取り組み中。秋祭りに太鼓巡業を企画し、住民参加を促している。

問19【課題⑧地域活動がマンネリ化している】（単一回答）

「地域活動がマンネリ化している」ことについては、「課題である」（36.4%）となっており、その他課題に対しての具体的な工夫や取組については以下のとおりである。

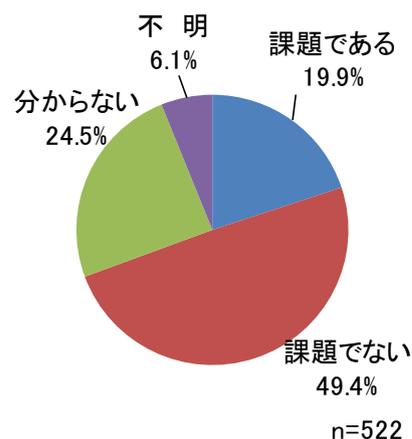


<地域活動の活性化に対する工夫した取組（一部抜粋）>

地域の人から提案をもらう。
地域からの提案などがいないか、訪問している。
興味のある活動だけ参加してもらおう(餅つき、ふるさと祭り)。
自主活動で新たな試みを作り出すことを推進（補助金の充実）
同世代の運営委員を誘い、新しい模擬店を行う等取り組んでいる。
だれもが参加しやすいよう、広い世代に合わせた行事を計画している。
各組織とワークショップを何回も行い、互いに協力して助け合っている。
各委員会、会合のうちに意見交換し、より魅力あるイベントを目指している。
多様な世代に参加してもらえるよう、住民から地域活動に対する提案をもらっている。
市からの新しい情報提供をすぐに取り入れ、現在のテーマに即した講習会等を開催している。
年1回の管理組合総会において、自治会関係の報告を行い、組合員からの意見や提案をもらっている。
行事終了後、打ち上げを行い、ブレーストーミング形式で意見をとり、実現の可能性に近づくように行っている。
団体の会議の場、または、一般住民からの地域活動に対する情報や声を大切に、協議会に提案している。
市での会議等に出席する等、いろいろな資料を得て、その中から自分たちが取り組めていないもの、目新しいものを発見し、できるものから取り入れるようにしている。
こまめに回覧を回し色んな情報を発信している。
新しい会員を増やすように案内を全戸に呼びかけている。
地域情報を回覧・提示中心に頻りに発信し、地域活動が動いていることを認識アップさせている（ゴミ管理、交通安全、地域開発情報）。
5年10年後の地域の理想像を定め、それに向かって短期、長期のテーマを着実に進め、その状況が住民に分かるように情報提供するのが良い。
合同会合が多く、情報も多く、きたんのない意見が出る。また広域やアップの会合に出た方から、他の地区情報に賛同して始まるケースも。

問19【課題⑨地域の各種団体や組織との連携・協力ができない】（単一回答）

「地域の各種団体や組織との連携・協力ができない」ことについては、「課題である」（19.9%）となっており、その他課題に対しての具体的な工夫や取組については以下のとおりである。

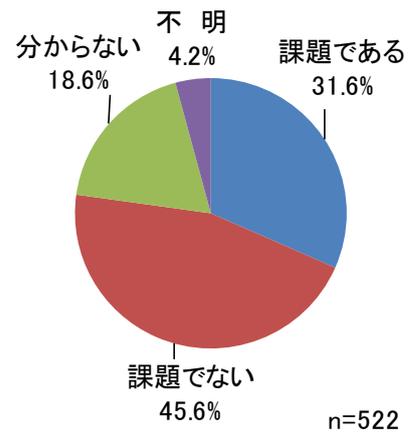


<地域内の連携・協力に対する工夫した取組（一部抜粋）>

<p>連合総会への参加など</p> <p>各団体に相互役員を派遣している。</p> <p>自治会長が他の団体の役員（構成員）になり、情報を共有している。</p> <p>自治会長会議を開き、連携・協力</p> <p>連絡協議会で団体間の連携を取っている。</p> <p>地域協議会を主体に連携する仕組みが進んでいる。</p> <p>地域連絡協議会等の場で相談することができるようになった。</p> <p>自治会協議会において、各種団体の活動報告や依頼等を通じ、情報共有、検討する機会がある。</p> <p>ライン（メール）グループがあり、連絡を普段から密にとっている。名簿を利用し、アナログ派の方々とは毎日、連絡・情報交換を行っている。</p> <p>毎年2回円卓会議を行い、日程の調整など同じ月に重ならないようにしています。</p> <p>現在地区連絡協議会があり、自治会長連絡会を作り、各委員会も活動している。</p> <p>年に1度各種団体との懇談会を開催し、情報交換</p> <p>会員より出された地域の課題や要求を自治会に報告し、考えてもらっている。</p> <p>できるモノだけ行う。</p> <p>公民館が中心となり何とかうまくまとめていただいている。</p> <p>日常のつながりの中で信頼関係があり、お互いに協力できている。</p> <p>負担が大きいですが、中心となる人物がいると、組織と組織の橋渡しをしてくれるため、連携を図ることができる。中心となる人物が居るかどうか重要</p>
--

問19【課題⑩行政からの回覧物が多く地域の負担となっている】（単一回答）

「行政からの回覧物が多く地域の負担となっている」ことについては、「課題である」（31.6%）となっており、その他課題に対しての具体的な工夫や取組については以下のとおりである。

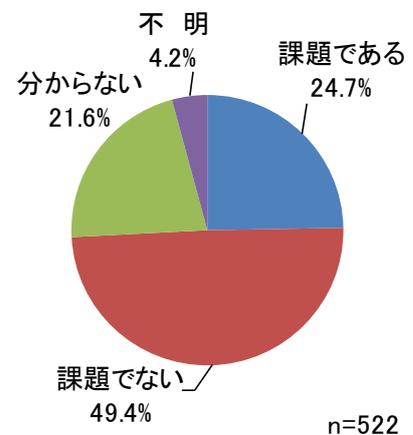


<回覧物に対する工夫した取組（一部抜粋）>

自治会役員による分担、分業
回覧を月初めと中旬の2回実施
回覧物は全部コピーし、全戸配布
回覧可否の選定をし、提示板を活用
回覧後、エレベータ近くの掲示板上に掲示
掲示板上に必要と思われる回覧物を掲示し、いつでも閲覧できるようにしている。
月一回の班長会（第3又は4土曜日）で説明し、渡している。
月1回の定例会議後の回覧にまとめている。緊急の場合は、特別に回覧する。
ブロック（4ブロック）ごとに、毎月25日に集会を開き、その場での回覧および要旨説明を行っている。
PDF化してメールで送付
Web配信を検討

問19【課題⑪募金活動が地域の負担となっている】（単一回答）

「募金活動が地域の負担になっている」ことについては、「課題である」（24.7%）となっており、その他課題に対しての具体的な工夫や取組については以下のとおりである。



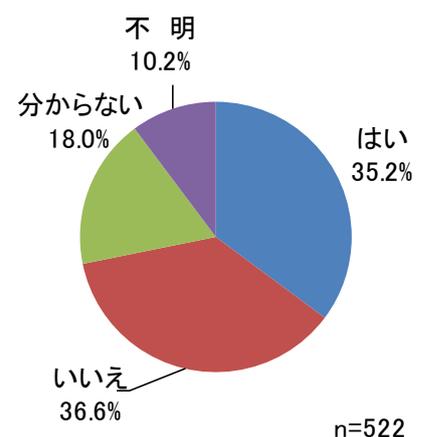
<募金活動に対する工夫した取組（一部抜粋）>

班長に説明し、回収に訪問してもらっている。
各班長単位で処理（集金）し、一括で各班長から処理をする。

集金を各フロアの班長にしてもらい、その後、日時・場所を指定して会計を中心に役員のメンバーにて徴収する。
戸別訪問ではなく、案内チラシを配布し、回収ポストによる回収を行っている。
募金案内を全戸配布し、会長宅へ持ってきてもらうようにしている。
募金案内を全戸配布の上、募金していただける方には管理室へ持ち込んでいただいている。
募金箱を回して、協力している。
募金案内を全戸回覧にて対応、募金箱を設置
どんと祭り等イベント時に募金箱を設置
募金箱をつくり、街内の回覧でまわして協力している。
自治会長のポストに入れてもらうことにしている。
集会のときに募金集めを行っている。
総会にて全会一致で個人の募金をやめ、自治会で一括して決った金額を支払うことに決めている。

問20【所属している地域組織の活動において、様々な年代の地域住民の方々が参加いただけるような工夫をされていますか】（自由記述）

様々な年代の地域住民が参加できる工夫をしているかどうかについては、「はい（工夫している）」（35.2%）となっており、具体的な工夫や取組については以下のとおりである。



<多世代が参加できる工夫した取組（一部抜粋）>

回覧、チラシ、ポスター、広報誌、HP の活用
参加者に飲物等を提供
小学校 PTA を巻き込む。
校門前で募集チラシ配布
メガホンで地域を回っている。
敬老会、子供会にも回覧等で呼びかけ
飲み会等で（自分の金）交流をはかる。
若い人とのコミュニケーションの充実
各種行事ごとに有志協力員を募集している。
七夕の笹飾りに老人クラブに参加・協力依頼
日々の挨拶からのコミュニケーションづくり
出来るだけ若い人に声かけして参加してもらう。
若年親子が祭り参加への働きかけ（回覧、提示等）

子どもからお年寄りまで参加いただける催しを開催
夏休みの時、老人クラブと合同で朝のラジオ体操を実施
仕事にさしつかえがないような日程で地域活動を組んでいる。
コミセン祭り、ジャズクラブ、異文化交流会、バスツアーコンサート
本年度「百人一首カルタ倶楽部」を設立し、読み手ボランティアを募集
地区に引っ越しされた方には入会についての説明をして加入を要請
地域行事を開催する際、全世帯に案内配布と車で開催宣伝放送をしている。
会議の開催回数を出来る限り少なくし、開催時間も午後 7 : 30 からとしている。
地域のお祭や清掃活動において、ボランティアを募集（年配の方から中・高生が参加）
毎年、校区の児童を対象に夏休初日に夕涼み会映画会を実施（今年で第 9 回開催）
広報誌にはできるだけ幼児からお年寄りまでの方が写真等に載るように心がけている。
短時間でも「参加賞」を配布。「ありがとう！」「助かった！」と感謝の気持ちを伝える。
放課後こども教室と（小学生）と老人クラブとの共催事業（ニュースポーツ）を年間 3 回行っている。
2 か月に 1 度（隔月）、会報誌「G I P」（コミュニティ誌）を発行し、理事会、自治会他の活動報告をし、理解、協力を得るようにしている。
地域行事などをしっかり周知し、多世代の方に楽しんでもらえるように工夫し、団体 OB 等をお願いをして担い手になっていただくなど、なるべくそれないようにがんばっている。

## 問 2 1 【地域コミュニティの更なる活性化に向けた提案があれば記入してください】

（自由記述）

活性化に向けた提案については、自由記述を集計し整理したところ概ね「人材確保」「組織・運営」「連携」「新たな具体的な活動」「住民の意識や地域コミュニティづくりの方向性」「行政」についての意見が寄せられている。

### 工夫の具体的な内容について（一部抜粋）

#### <人材確保について>

大学生との連携
会議回数の見直し
役員のインセンティブの創設
定年後の地域活動への参加の働きかけ
75 才で OB になり、若い世代に役員を継承
各イベントの特定者を設け、長年中心で動いてもらえる方を選定

#### <組織・運営について>

ライン（メール）、スマホ、PC の活用
若い人がグループで 1 つの役職を担う仕組みづくり

各委員会等をNPO化し、企業からのCMによる協力等も得る。
定年制（75歳～80歳）を設ける。定年は75歳として周囲の推選があれば継続できる。

### <連携について>

組織間の連携の強化
各地域の成功事例を共有
各代表者会議を定期的な実施（問題点の共有とその解決）
小、中、高での地域コミュニティに対する教育が必要（10年、20年先を見て）

### <新たな活動提案について>

儲かる農業（作物）の発見
自治会のメリットをPRするパンフレットの作成
自治会対抗運動会などのイベントの創設、自転車レースやマラソン大会、地形や自然を活かしたイベントの誘致

### <住民の意識、地域コミュニティづくりの方向性について>

一人一人が自分にできる事を楽しんで、参加
子どもの見守り活動や「子どものために」という意識で取り組む。
地域の実情や課題に特化した取組みに転換。地域の中で知恵と工夫が生まれる環境づくり
共通する価値観を見だし（例えば、防災、災害など）で、それぞれの世代別リーダーを生み出す工夫が必要
両隣の人たちとの”あいさつ”から地域のつながりを深める。あいさつがとびかう街はきっと笑顔あふれる人々とのつながりのある地域になる。

### <行政に対する意見>

地域活動の補助金や交付金の用途については、地域の裁量を拡大
地域組織が自らのアイデアを具現化できるよう、自由に使える資金が必要
住民に自治会への参加を義務づけ、自治会加入へのインセンティブの構築

### <その他>

イベントの業者委託
地域コミュニティの目的、必要性の見直し
地域コミュニティの改善のための議論が必要
住民みんなが参加できるように負担軽減、意識の醸成、広報、情報共有、行事を工夫し、楽しく参加できるようにする。
大体、市役所に対する魅力がなくなった今日、また、人と人とのつながりを求めない傾向にある今日、自治会そのものの見直しが必要

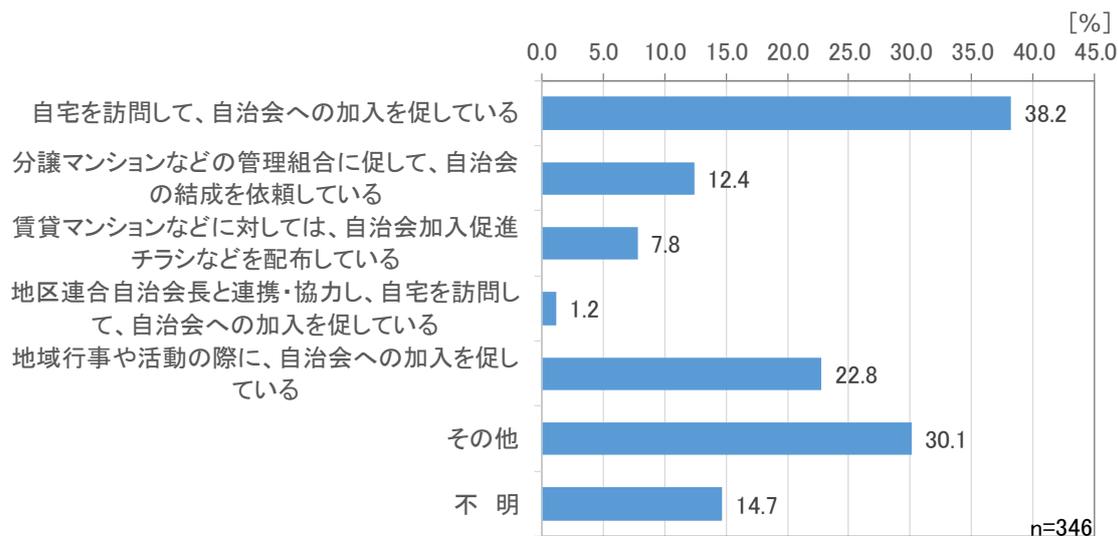
### 3. 自治会活動に対する取組について

以降の設問については自治会長の方のみに質問し、得た回答を集計している。

#### 問22【自治会の未加入者への加入促進として、どのような取組を行っていますか】

(複数回答)

自治会加入促進に向けた取組については、「自宅訪問」(38.2%)が最も多く、次いで、「その他(その他記入内容参照)」(30.1%)、「地域行事や活動の際に、自治会への加入を促している」(22.8%)となっている。

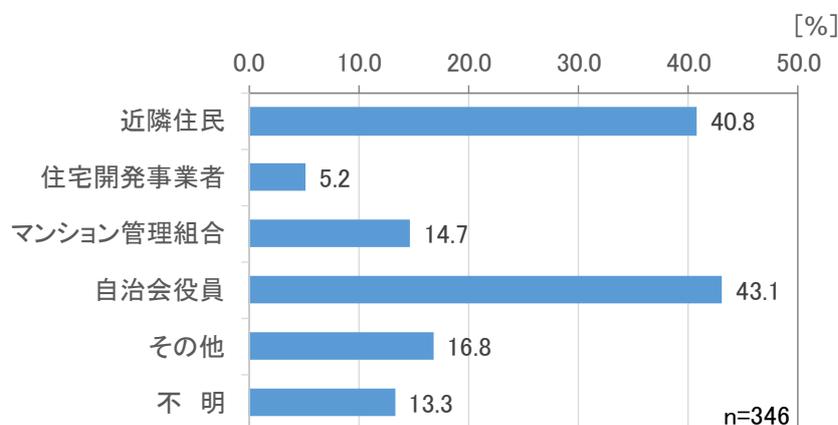


#### その他記入内容 (一部抜粋)

各班で加入促進をしている。
役員を免除し再加入してもらう。
組長(班長)が加入を促している。
入居者は必ず管理組合(自治会)へ加入
不動産会社に自治会へ加入するように言ってもらおう。
賃貸マンションの管理会社から入居と同時に加入としてもらっている。
家が新築された時や新しく引っ越して来た人にチラシを配付している。

### 問23【自治会の未加入者の情報は、どのようにして得ていますか】（複数回答）

自治会未加入者情報の取得については、「自治会役員」（43.1%）が最も多く、次いで、「近隣住民」（40.8%）となっている。



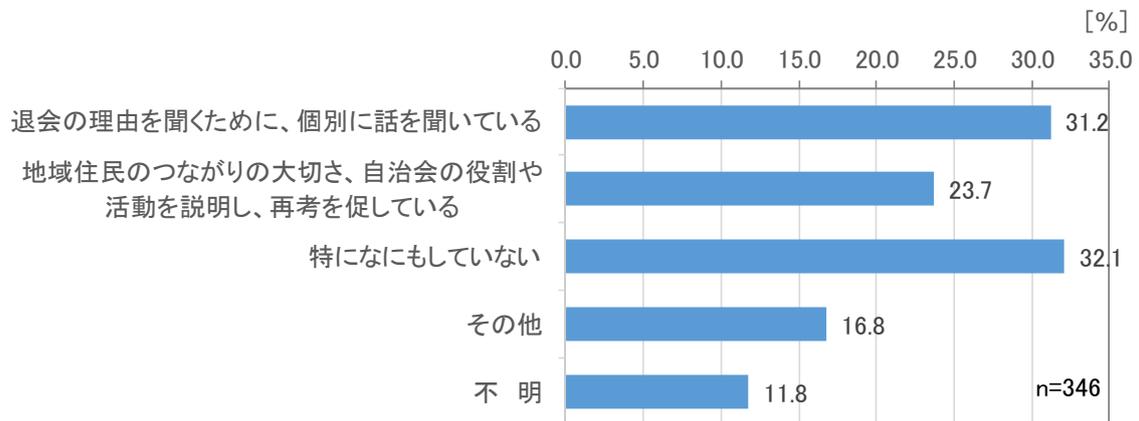
#### その他記入内容（一部抜粋）

各班の班長
自治会名簿
過去からの引継ぎ
加入者リストの作成
加入世帯が少ないので分かる。
自治会費を納付しないという事実でわかる。
マンションの管理人（マンションのオーナー）
経常的に地区内を回っているので状況を把握している。
賃貸マンションぐるみで未加入ということが固定化している。
マンション全住民に自治会に加入するかどうかを確認し、未加入者を把握

### 問24【自治会から退会したい旨の相談を受けた場合は、どのように対応していますか】

（複数回答）

自治会からの退会の相談を受けた場合の対応については、「特になにもしていない」（32.1%）が最も多く、次いで、「退会の理由を聞くために、個別に話を聞いている」（31.2%）、「地域住民のつながりの大切さ、自治会の役割や活動を説明し、再考を促している」（23.7%）となっている。

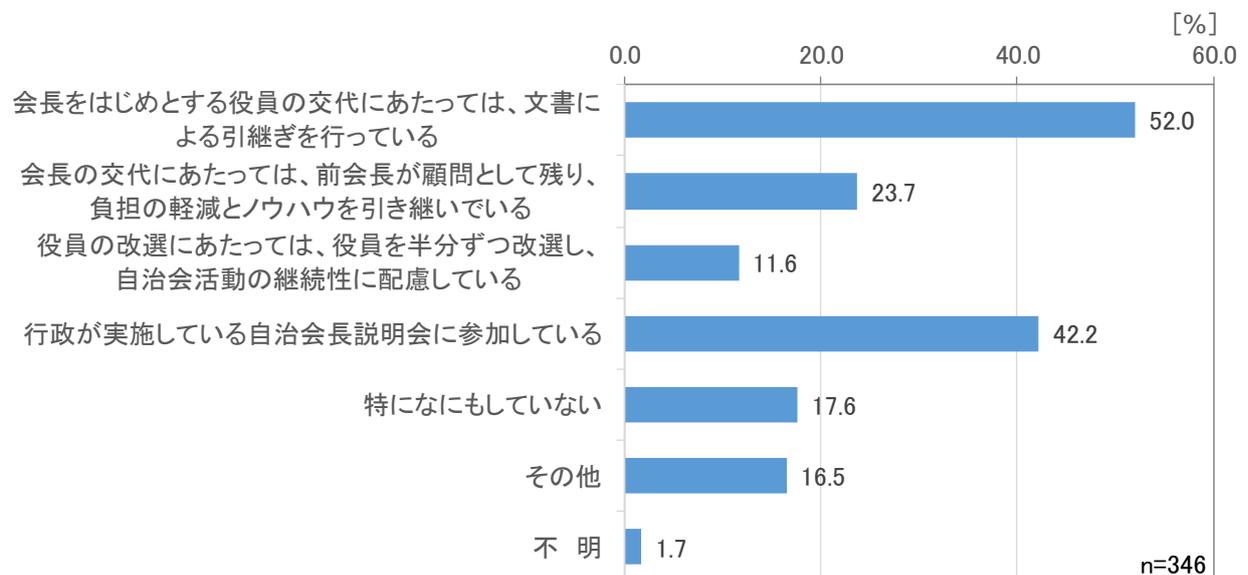


**その他記入内容（一部抜粋）**

各班で対応
班長に任せている。
相談時は個別で対応
高齢の方には、役員免除し、残ってもらっている。
再考は促すものの、任意であるので、受け入れている。

**問25【自治会運営の継続性を確保する取組として、役員の改選や引継ぎ時には、どのような工夫をされていますか】（複数回答）**

役員の改選、引継ぎ時に行っている工夫については、「文書による引継ぎ」（52.0%）が最も多く、次いで、「行政が実施している自治会長説明会」（42.2%）、「会長の交代にあたっては、前会長が顧問として残り、負担の軽減とノウハウを引き継いでいる」（23.7%）となっている。



<継続性を確保するための工夫した取組（一部抜粋）>

新旧の役員が集まる会を催している。
役員・班長ミッション文書を作成している。
役員交代の際、口頭で引継ぎをしている。
引継ぎがなかったため、現在は、パソコンで作成したデータを引き継いでいる。
副会長が1年間、会長と一緒に活動し、その後、1年間、会長をする運営にしている。交代時には、口頭と資料の引き継ぎを実施
輪番で運営
役員の中から選出
会長が次の役員をお願いする。
会計2年、副会長4年、会長2年の任期で順に昇格
年任期が基本であるが、留任者が何人か出るよう依頼
役員に残ってもらうように依頼
最初の地域会議に、前会長も出席
疑問があれば前会長にその都度、聞く。
会長見習として、1年間、会長の職務を見てもらう。
話し合い、できる範囲で前役員に協力をお願いしている。
役員の任期は5年以上としている。
出来るだけ多くの会員が集合し、意見交換を年2～3回実施

問26【貴自治会において、最も力を入れている、又は、力を入れるべき活動は何ですか】  
（自由記述）

最も力を入れている、入れるべき活動については、自由記述を集計し整理したところ「組織運営全般」「会員募集・担い手づくり」「防災・防犯」「清掃活動」に関する意見が多い。

<組織運営>

役員負担軽減
加入者での自治会独自の活動
目的をしっかり持つ・会費収入など、きっちり使う・楽しい活動を意識している。
継続可能な自治会をとして、誰もができる仕事内容やその内容の簡素化に努めている。
連合自主防災会のスムーズな立ち上げと単位自治会の受け皿を決めること。役員が4人で精一杯なので若手役員の参入促進
高齢者と若者ファミリー世代が混在している。両方の層に合う活動も大切だが、世代ごとにわけて地域活動の企画を行った方が、参加意識が高まることもある。

### <情報発信>

回覧を週 1 回定期的に実施
自治会の存在意義を啓発
掲示板に古い物をいつまでも張らないようにしている。
回覧物や掲示物等をより分かりやすく作成
自治会活動への理解の促進。市の主催する活動への参画推進。他のコミュニティとの連携の重要性の説明
毎月定期的に自治会会議（役員、各班長、公民館委員、子供会等約 40 名）を実施し連絡等の徹底に努めている。

### <会員募集・担い手づくり>

入会者の増加・自治会役員のなり手をつくること
役員、会員の高齢化・空家対策・インフラ整備（環境）
自治会町内会等を否定的に捉えている方もおり、ジレンマを感じるが、自治会会員との連携連帯性、相互扶助的役割、関わりを目指したいと考える。
従来は子世代が小学生中心であったため、子ども向けイベント（もちつき、ハロウィン等）を行ってきたが、子世代が中学生、高校生中心になってきたため、活動内容が子ども向けイベントから地域の安全や環境に関する取組みが中心になってきた。

### <高齢者向けの活動・対応>

高齢、独居の会員への目配り、声掛け（自主的に）
高齢者に対するお祝金の支給（70 才、80 才以上 1000 円、2000 円）
高齢化が進み、役員のなり手がなく、やむなく退会をしてしまう世帯があり、また、役員の仕事が多忙であり、加入を渋られるため、役員の任期の再考と、仕事、行事の精査を行うことが必要

### <防災・防犯>

年末夜回り
消防訓練、防犯活動、情報提供
防災活動特に安威川流域のため、水害対策
ふれまちネット（ふれあいの町庄）ネットワークの構築・災害時早期避難困難者への助け・声かけネット（孤独死防止の見守りネット）・早期避難援助可能者の募集
本年度防災倉庫を設置した。今後、防災資機材、用品を順次購入していく。災害時、安否確認のため「一時集合場所」を各組・各班で決め、毎年の総会で継承していく。
一般住宅解体時のアスベスト被害対策として住宅内（自治会内）の解体現場に「石綿に関する事前調査の結果について」が掲示されているか確認している。掲示がない場合、市役所担当部署に連絡して指導してもらっている。

### <地域行事>

ふるさと祭、体育祭、年末夜警、餅つき、盆踊り大会、夏祭り、春日神社祭、住民交流のカーニバル、マンション緑地でのガーデニング、クリスマスイルミネーション、茨木神社夏祭り、親睦会、文化展、どんと祭り、納涼会、みかん狩り、地域盆、夕涼み会、花の植替、ラジオ体操

### <清掃活動>

年2回の地域清掃
1か月1度の住宅内清掃
提供公園（児童遊園）の清掃（年3回）
自治会資金としての廃品回収活動推進
毎月第3日曜日、午前8時～9時まで、公園の一斉清掃を実施している。
ごみ置場の美化。ごみ置場に担当者を決めていつも美しく。神社等の清掃当番を月々決めて行っている。
平成27年1月から毎週日曜日、地域環境美化運動の一環として、「犬のフン撲滅作戦」を実施、地域の大人と小学生等、約10人で（美化ジャンパー着用）早朝に巡回している。※町内が大変美しくなった。

### <コミュニティづくり・交流活動>

高齢化対策として老人クラブ(老人会)活動への助成
趣味（絵画、編み物等）のグループ活動の継続
マンション理事会との連携が必要。特に防災について、マニュアルを作成し、共有したい。
交流の場が少なくなっているため、一斉清掃の場での交流、小さな農地での野菜づくり（おばさま方のコミュニケーションの場）を大切にしている。
地域住民のコミュニティ向上が重要で（高齢化が進んでおり）自治会内に親睦部会と体育部会を設け、各部会のリーダーを中心に、住民参加型の集会や行事を行っている。特に親睦部会では毎月、集会所で、親睦会を定期的に行っている。
「土日祭り」、「ひまわり文庫引き取り」を実施するため、集会所を毎週土、日開放し、子どもたちのいこいの場として提供している。また、夏休みは「ラジオ体操」を実施

### <組織・団体間連携>

自治会連絡協議会、各自治会長で取り組んでいる。
老人クラブ(老人会)、子ども会、自治会で共催の行事を行っている。
会長・全役員とライン（メール）を活用し、連絡等がスムーズになった。また、写真を送信することで現場状況の把握などもできるようになり、地震や台風時に役立った。
自治会、子ども会、老人クラブ(老人会)（木の实会）会の共同で主な活動を行うことで地域のコミュニティを広げ、幼児から高齢者までが顔見知りになり、挨拶が各場所のできる街にする。（青パト、通学見守り等）

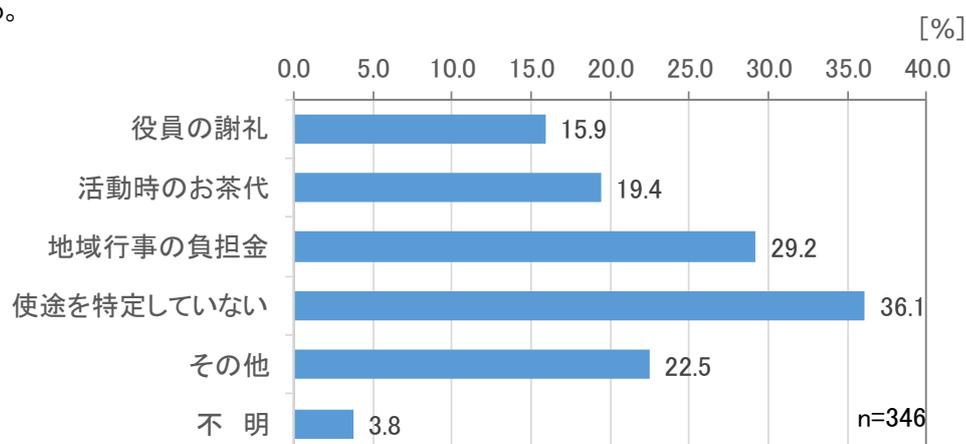
## <その他>

年齢を決めて図書券を配布、敬老の日にタオル・洗剤等を個別配布
内容を把握し間違いないようにする。人の話、意見はよく聞くように心がける。
森林や田畑を維持するための後継者づくり。森林や田畑を抱える地域の魅力づくり、農林業に対する働きがいや生きがいを見出す事が重要と考える。

## 問27【自治会活動報奨金（@320×世帯数）はどのように活用されていますか】

（複数回答）

自治会活動報奨金の活用方法については、「用途を特定していない」（36.1%）が最も多く、次いで、「地域行事の負担金」（29.2%）、「その他（その他記入内容参照）」（22.5%）となっている。



## その他記入内容（一部抜粋）

### <その他の活用方法>

掲示板購入等
バスツアー等
会議費（会場費）
道具（鎌、はさみ）
交通費、葬祭費等
必要器具などの経費
ガーデニングの苗代
募金、連合自治会費
自治会運営費に充てている。
手伝ってくれる人への謝礼
月例会議及び各種行事の資料依頼
コピー代、備品などの購入に活用
会員にゴミ袋・班長にお菓子を配付
行事の慰労会費支援

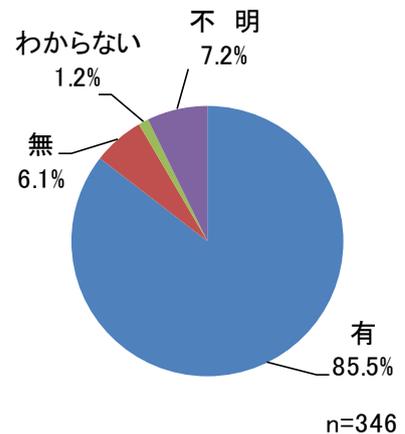
全会員を対象としたコミュニケーションづくりに活用
役員以外の地域のために尽力を下さっている方への謝礼
集会所改装のため、積み立て、自治会だより作成のために使用

### <役員への支払い>

会長の報酬金
役員の活動費
諸雑費の補填等
地域活動にかかった費用、通信費の補填など
総会後の自治会役員、自治会選出の各種団体委員の慰労会の助成金としている。
役員改選時（毎年3月）に慰労会費として3万円受領して食事代に使っている。規約に明記
250円×世帯数は、「お疲れさん会」に、残り70円は、ゴミ袋の配布などに活用

### 問28【会費はありますか】（単一回答）

自治会費については、「有」（85.5%）、「無」（6.1%）となっている



### 問28【平均会費（1世帯あたり）】（自由記述）

1世帯あたりの自治会費の平均額については、

- ・ 月額約260円（n=296）
- ・ 年額約3,000円（n=296）となっている。 ※10円未満四捨五入

月額の自治会費については、「1,500円」が最も高く、「50円」が最も低くなっている。また、年額の自治会費については、「18,000円」が最も高く、「400円」が最も低くなっている。

以上

## 茨木市の地域コミュニティに関するアンケート

《ご協力をお願い》

日頃から、地域の皆さまには、地域コミュニティの醸成と更なる発展に、ご尽力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本市では、地域コミュニティ基本指針に基づいて、市民の皆さまのご協力のもと、地域コミュニティの維持向上に取り組んでいるところですが、地域コミュニティの現状を把握するとともに、社会経済情勢の変化等を踏まえた地域コミュニティのあり方などに関して率直なご意見をお伺いし、今後の地域コミュニティに対する取組の重要な基礎資料として役立てたいと考えております。つきましては、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、本アンケート調査は茨木市が株式会社地域計画建築研究所に委託し、実施するものです。

令和元年8月

茨木市

### 【アンケートの取扱について】

- 1 このアンケートは、単位自治会長、地域自治組織（地域協議会）の構成員及びコミュニティセンター管理運営委員会の構成員の方を対象に、調査票をお送りしています。
- 2 全てのお答えを統計的に処理した上で、取りまとめを行いますので、個人のお答えを個別に公表することはありません。ご回答内容を正確に把握するため、市民協働推進課から、ご回答内容について詳しくお尋ねすることがありますので、その際はご協力をお願いいたします。
- 3 このアンケートの結果については、上記の目的である基礎資料以外に使用することはありません。なお、具体的な事例等は事前に許可をいただいた上で、他地域等へ紹介させていただくことがあります。

### 【ご記入にあたって】

このアンケートは、封筒の宛名のご本人がお答えください。  
自由記述欄が多くあります。ご回答内容の詳細について資料がありましたら同封いただけると幸いです。

### 【返送について】

ご回答いただいた調査票については、令和元年9月6日（金）までに、同封しています返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください（切手不要）。

### ■アンケートに関する問い合わせ先

いばらきし しみんぶんかぶ しみんきょうどうすいしんか こみゅにていかり  
茨木市 市民文化部 市民協働推進課 コミュニティ係

〒567-8505 いばらきしえきま駅前3丁目8番13号

でんわ 電話 072-620-1604 （直通） るあつくす FAX 072-620-1715

Eメール shiminkyoudou@city.ibaraki.lg.jp

**1 ご自身のことについて**

問1 あなたの自身のことについてお尋ねします。  
 あてはまるものに、それぞれ1つだけ○をつけてください。  
 \*性別については統計的に男女の比率を得るためにご回答をお願いしています。

①氏名（任意）			
②性別	1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない
③職業	1. 自営業 4. 団体役員	2. 会社員 5. 無職	3. 公務員 6. その他（ ）
④年齢	1. 29歳以下 4. 50～59歳 7. 80歳以上	2. 30～39歳 5. 60～69歳	3. 40～49歳 6. 70～79歳
⑤所属組織 での役職	1. 会長・委員長 4. 書記 7. その他（	2. 副会長・副委員長 5. 監査	3. 会計 6. 班長 ）
⑥役職経歴 年数(通算)	1. 1年未満 4. 5～10年未満	2. 1～3年未満 5. 10～20年未満	3. 3～5年未満 6. 20年以上

問2 あなたのお住まいの地域をお尋ねします。  
 あてはまる小学校区に1つだけ○をつけてください。

1. 茨木小学校区	2. 春日小学校区	3. 春日丘小学校区
4. 三島小学校区	5. 中条小学校区	6. 玉櫛小学校区
7. 安威小学校区	8. 玉島小学校区	9. 福井小学校区
10. 清溪小学校区	11. 忍頂寺小学校区	12. 大池小学校区
13. 豊川小学校区	14. 中津小学校区	15. 東小学校区
16. 水尾小学校区	17. 郡山小学校区	18. 太田小学校区
19. 天王小学校区	20. 葦原小学校区	21. 郡小学校区
22. 庄栄小学校区	23. 沢池小学校区	24. 畑田小学校区
25. 山手台小学校区	26. 耳原小学校区	27. 穂積小学校区
28. 白川小学校区	29. 東奈良小学校区	30. 西小学校区
31. 西河原小学校区	32. 彩都西小学校区	

問3 あなたの家族構成をお尋ねします。  
 あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 単身	2. 夫婦のみ	3. 親子（二世代）
4. 親・子・孫（三世代）	5. その他（	）



問10 あなたは、シビックプライドの醸成のために、今後、何が重要だと思われますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 景観・まちなみ	2. 地域情報の発信	3. 地域の人々とのつながり
4. 地域の将来像の共有	5. 地域のお祭りなどの地域行事	
6. その他（具体的に： _____）		

## 2 地域活動の現状と課題について

問11 あなたの所属する主たる組織の役員の選出方法についてお伺いします。  
 あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 輪番（当番）	2. 投票	3. 推薦
4. 協議（話し合い）	5. その他（具体的に： _____）	

問12 各役員それぞれの任期についてお伺いします。  
 あてはまるものそれぞれに1つだけ○をつけてください。

会長・委員長	1. 1年	2. 2年	3. 3年以上	4. その他（ _____）
副会長・副委員長	1. 1年	2. 2年	3. 3年以上	4. その他（ _____）
書記	1. 1年	2. 2年	3. 3年以上	4. その他（ _____）
会計	1. 1年	2. 2年	3. 3年以上	4. その他（ _____）
監査	1. 1年	2. 2年	3. 3年以上	4. その他（ _____）
班長	1. 1年	2. 2年	3. 3年以上	4. その他（ _____）
その他（ _____）	1. 1年	2. 2年	3. 3年以上	4. その他（ _____）

問13-1 各役員の謝礼（報償）の支給の有無についてお伺いします。  
 あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. <u>有</u>	2. 無	3. わからない
-------------	------	----------

問13-2 問13-1で「有」を選んだ方にお伺いします。  
 差し支えない範囲で、謝礼額などを記入してください。

区 分	謝礼（報償）額	支出元	支出科目
会長・委員長	円		
副会長・副委員長	円		
書記	円		
会計	円		
監査	円		
班長	円		
その他（ _____）	円		
（例）会長	3,000円	自治会報償金 自治会費	謝礼（報償）、交通費、通信費、 活動費 等

問14 所属されている組織の主な収入は何ですか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 自治会費	2. 自治会活動報償金	3. 市からの補助金・交付金
4. 資源回収の報奨金	5. 企業・事業者から寄附	6. その他 ( )

問15-1 あなたは、次にあげる地域コミュニティ活動に参加されていますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 地震、風水害等に備える自主防災活動
2. 地域の安全を見守る、防犯・パトロール活動
3. ごみステーションの管理・公園清掃などの環境美化活動
4. 高齢者、障がい者などに対する福祉活動
5. 子育て支援に関する活動
6. 青少年健全育成に関する活動
7. こども会・PTA活動
8. 地区体育祭などのスポーツ活動
9. 趣味の活動や文化展などの文化活動
10. 地域のイベント（お祭りなど）の活動（運営）
11. 歴史・文化の継承活動
12. 生涯学習の推進活動
13. その他（具体的に： )

問15-2 あなたが、問15-1の地域コミュニティ活動に参加するようになった「きっかけ」はどのようなことですか。あてはまるもの3つ以内で○をつけてください。

1. 自治会を通じて参加するようになった
2. 保育所や学校など、子どもの関係で参加するようになった
3. 友人、知人を通じて参加するようになった
4. 地域の役員さんから依頼をされて参加するようになった
5. 公民館、コミュニティセンター主催の事業（講座など）に参加したことがきっかけとなった
6. 地域が発行している情報誌やチラシを見て参加するようになった
7. 自発的に参加した
8. 特にきっかけはない
9. その他（具体的に： )

問16-1 所属する組織の活動にあたり、他の団体や組織と連携・協働することはありますか。  
 あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 有 →問16-2へ	2. 無	3. わからない
--------------	------	----------



問19 所属している組織において、次の項目について課題となっていますか、また、その課題に対して取り組んでいることはありますか。

①～⑥それぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけ、対策として具体的に工夫されている取組（過去も含む）があれば、自由に記入してください。

①組織への加入者が減少している

1. 課題である	2. 課題でない	3. 分からない
対策として具体的に工夫している取組（過去実績も含めて、内容を記入してください）		

（例）地域情報誌などを活用して、組織への加入を促している。

②高齢化により、地域活動に参加できる人が減少している

1. 課題である	2. 課題でない	3. 分からない
対策として具体的に工夫している取組（過去実績も含めて、内容を記入してください）		

（例）チラシによる地域活動の周知をはじめ、地域の各種団体に参加協力を求めている。

③役員の負担が大きく、担い手がいない

1. 課題である	2. 課題でない	3. 分からない
対策として具体的に工夫している取組（過去実績も含めて、内容を記入してください）		

（例）役員（会長・〇〇）を複数で担うことにより、負担の軽減に努めている。

④所属している組織に魅力を感じない

1. 課題である	2. 課題でない	3. 分からない
対策として具体的に工夫している取組（過去実績も含めて、内容を記入してください）		

⑤地域活動に対する住民への周知ができていない

1. 課題である	2. 課題でない	3. 分からない
対策として具体的に工夫している取組（過去実績も含めて、内容を記入してください）		

（例）より多くの地域住民に参加していただくため、チラシなどを全戸配布している。

⑥活動資金が不足している

1. 課題である	2. 課題でない	3. 分からない
対策として具体的に工夫している取組（過去実績も含めて、内容を記入してください）		

（例）地域の事業者に寄付を依頼している。

⑦住民の地域活動（まちづくり）に対する関心が薄れている

1. 課題である	2. 課題でない	3. 分からない
対策として具体的に工夫している取組（過去実績も含めて、内容を記入してください）		

（例）住民の地域活動に対する関心を高めるため、地域での活動を情報誌として作成し、配布している。

⑧地域活動がマンネリ化している

1. 課題である	2. 課題でない	3. 分からない
対策として具体的に工夫している取組（過去実績も含めて、内容を記入してください）		

（例）多様な世代に参加してもらえるよう、住民から地域活動に対する提案をもらっている。

⑨地域の各種団体や組織との連携・協力ができない

1. 課題である	2. 課題でない	3. 分からない
対策として具体的に工夫している取組（過去実績も含めて、内容を記入してください）		

（例）地域の各種団体や組織と連携・協力できるよう地域課題や解決方策を検討・共有する機会を設けている。

⑩行政からの回覧物が多く地域の負担となっている

1. 課題である	2. 課題でない	3. 分からない
対策として具体的に工夫している取組（過去実績も含めて、内容を記入してください）		

（例）行政からの回覧物は手元に残らないため、班長宅の扉に、いつでも閲覧できるよう掲示している。

⑪募金活動が地域の負担となっている

1. 課題である	2. 課題でない	3. 分からない
対策として具体的に工夫している取組（過去実績も含めて、内容を記入してください）		

（例）地域の行事などにおいて、募金箱を設置し、募金活動に協力している。

問20 所属している地域組織の活動において、様々な年代の地域住民の方々が参加していただけるような工夫をされていますか。（自由記述）

1. はい	2. いいえ	3. 分からない
「はい」の場合、具体的に工夫されている内容を記入してください。		

- （例）
- ・地域行事を開催する際には、地域の全世帯に案内チラシを配布している。
  - ・子どもからお年寄りまで参加していただけるような催しを開催している。
  - ・各種団体のOBなどに声をかけ、活動に参加いただいている。

問21 地域コミュニティの更なる活性化に向けた提案があれば記入してください（自由記述）

--

- （例）自治会や地域組織の役員を担っていただいたOBの方に地域活動推進委員として協力いただいている。

自治会長の方は次ページ以降の質問にもご回答をお願いします。

### 3 自治会活動に対する取組について

ここからは、自治会長の皆さまにお尋ねいたします。

自治会長以外の方は、ここまでのアンケート調査に、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

問22 自治会の未加入者への加入促進として、どのような取組を行っていますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 自宅を訪問して、自治会への加入を促している
2. 分譲マンションなどの管理組合に促して、自治会の結成を依頼している
3. 賃貸マンションなどに対しては、自治会加入促進チラシなどを配布している
4. 地区連合自治会長と連携・協力し、自宅を訪問して、自治会への加入を促している
5. 地域行事や活動の際に、自治会への加入を促している
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問23 自治会の未加入者の情報は、どのようにして得ていますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 近隣住民
2. 住宅開発事業者
3. マンション管理組合
4. 自治会役員
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問24 自治会から退会したい旨の相談を受けた場合は、どのように対応していますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 退会の理由を聞くために、個別に話を聞いている
2. 地域住民のつながりの大切さ、自治会の役割や活動を説明し、再考を促している
3. 特になにもしていない
4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問25 自治会運営の継続性を確保する取組として、役員の改選や引継ぎ時には、どのような工夫をされていますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 会長をはじめとする役員の交代にあたっては、文書による引継ぎを行っている
2. 会長の交代にあたっては、前会長が顧問として残り、負担の軽減とノウハウを引き継いでいる
3. 役員の改選にあたっては、役員を半分ずつ改選し、自治会活動の継続性に配慮している
4. 行政が実施している自治会長説明会に参加している
5. 特になにもしていない
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問26 貴自治会において、最も力を入れている、又は、力を入れるべき活動は何ですか。  
(自由記述)

【具体的な特色ある活動を記入してください(特に無い場合は、ご意見など、自由に記入してください)】

(例) 地域における公園等の清掃を実施するにあたり、地域住民によるプロジェクトチームを構成し、4つのグループに分類して、役割分担しながら清掃活動を行っている。

問27 自治会活動報償金(@320×世帯数)は、どのように活用されていますか。

1. 役員の謝礼                      2. 活動時のお茶代                      3. 地域行事の負担金  
4. 用途を特定していない      5. その他(具体的に:                      )

問28 自治会の会費についてお伺いします。(自治会に未加入の方は回答不要です)  
会費はありますか。また、会費がある場合、1世帯あたりいくらですか。

1. 有                                      2. 無                                      3. わからない  
↓  
有の場合 月額 \_\_\_\_\_ 円/世帯      または      年額 \_\_\_\_\_ 円/世帯

アンケートは以上となります。

多数の質問にも関わらずご協力いただき、誠にありがとうございました。